

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年4月期

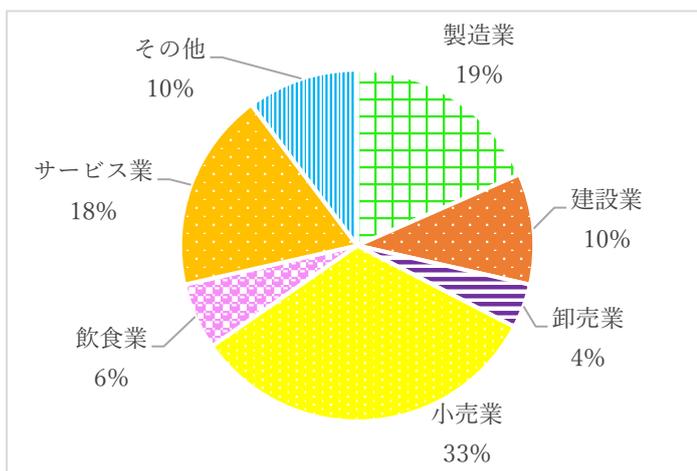
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は49名（回答率は73.1%）

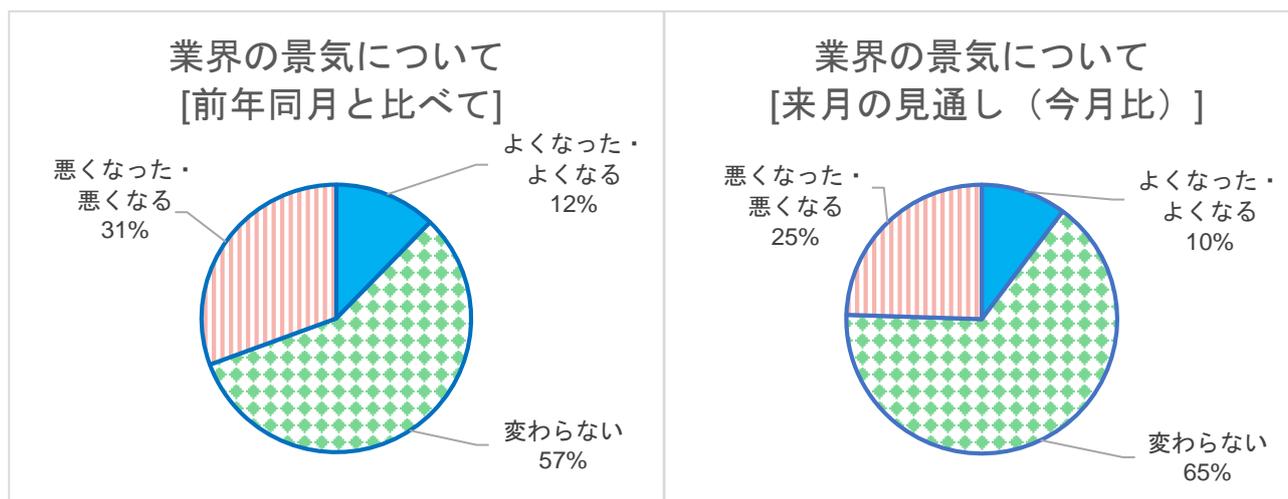
業種	回答者数	構成比
製造業	9	18.4%
建設業	5	10.2%
卸売業	2	4.1%
小売業	16	32.7%
飲食業	3	6.1%
サービス業	9	18.4%
その他	5	10.2%
計	49	100.0%



調査結果のポイント

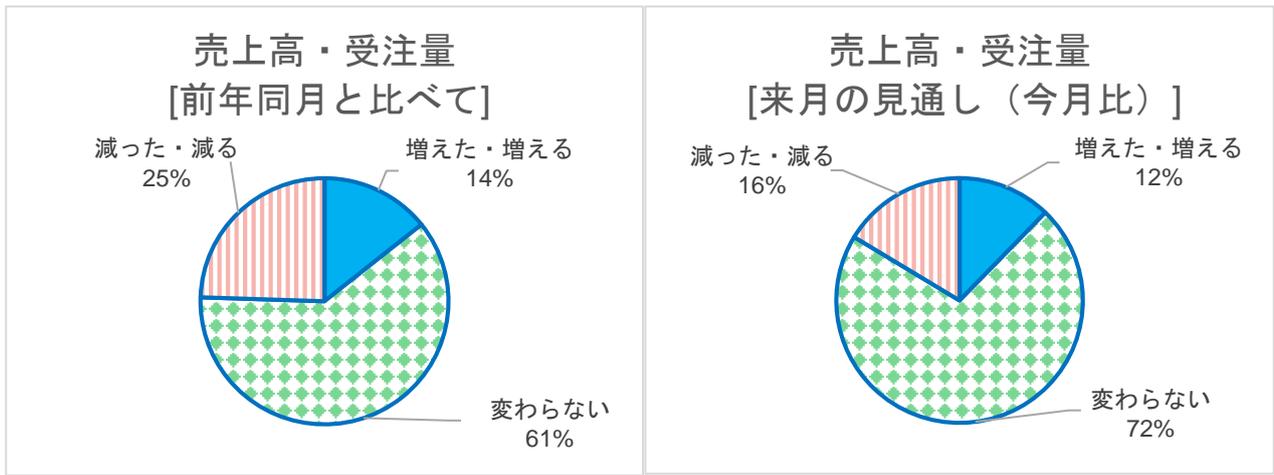
<景況>

- ・2022年4月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が12.2%、「変わらない」が57.1%、「悪くなった」が30.6%となりました。
- ・2022年5月以降の見通しについて、4月と比較して、「よくなる」が10.2%、「変わらない」が65.3%、「悪くなった」が24.5%となりました。※49社回答



<売上高・受注>

- ・2022年4月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた・増える」14.3%、「変わらない」が61.2%、「減った」が24.5%となりました。
- ・2022年5月以降の見通しについて、4月と比較して、「よくなる」が12.2%、「変わらない」が71.4%、「減った」が16.3%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界内に関するコメント
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4月に入り売上は少し戻っているが、相変わらず物価の上昇が厳しい。コストが上がり、利益を確保するのが大変。 <楽器(製)> ・ 一部材料の入手が困難になっている。 <木製品(製)> ・ 価格の高騰はしばらく続きそう。 <木製家具(製)> ・ 隣接する水路の汚泥、雑草等、浜松市の管轄になっており、自治会を通じて清掃の要望を提出しているがなかなか実施されない。タイに工場を持っている会社は円安の影響で最高益をあげているとのこと。原油高騰によりそれ以外の経費も上昇傾向にある。 <事業協同組合(鉄)> ・ 自動車業界の操業短縮の影響が大きい。 <事業協同組合(鍍金)> ・ 浜松まつりは開催となったが、地域のお祭りはまだまだ様子見ムードが強く、需要回復とはなっていない。 <注染ゆかた(加)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街道沿いに空き家や空地が目立つようになってきた。 <建築工事業> ・ 原油、資材価格の高騰。納期遅れ。 <電気配線工事業> ・ 設計案件が減っている。 <木製家具(製)> ・ 建築資材の合板の材料不足が続いている。住宅だけではなく、コンクリートの型枠合板も不足している。また、鉄の価格も上昇している。 <建築設計業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 値上げの影響なのか、コロナでの特需が落ち着いてしまったのか分からないが、売上減少の得意先が多い。その反面、お土産もの、ギフト需要は増えてきている。 <菓子材料(卸)> ・ 飲食店へのコロナでの影響が根強く残っている。客足が減少したままであまり上昇しないので業務用食材の動きは悪い。 <乾物(卸)> ・ コロナに影響で商品入荷が不安定。 <ガス機械(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新車はコロナやそれに伴う部品調達、海外ロックダウンなどの影響で長納期が常態化してきている。欲しい時に欲しいものが無いと需要と供給のバランスが崩れてしまい市場が縮小しているように感じる。 <自動車(小・修)> ・ 生産材のタイヤが4月まで価格据え置きで、値上がり前に多少先買をさせていただいたので、4月は売上が上がったが、5月はその反動が怖い。 <自動車タイヤ(小)> ・ 浜松祭りに期待している事業者が多い。 <経営コンサルタント> ・ 新茶の高値販売が業界的に伸び悩む。良質な茶葉確保も大変になる。農家と製造販売者が安定取引しているところは少なからず良いものの、市場取引や販路が明確ではない農家や組合などは不安の声をもらす。 <茶(加・小)>

小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・冠婚葬祭の需要に対しての和服の需要が減少している。 <呉服(小)> ・野菜の高値圏が落ち着かないので仕入に苦労するという話を聞く。 <事業協同組合(青果)> ・新型コロナウイルス感染症やウクライナ危機で先行きが暗い状況である。 <茶(製)(販)> ・ロシアウクライナ危機及び円安の進行によるガス仕入価格の高騰が続き、ガス機器の納期遅延は未だ解消の兆しが見えない。ガス業界を取り巻く環境は悪化の一途をたどっている。 <燃料(小)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での業績の低迷、事業主の高齢化等で事業の存続を検討せざるを得ないクライアントも出はじめています。給付金、支援金等で補填してきたものの、3年もの月日の経過は大きすぎる。 <税理士> ・公共工事の始まりが見えてきた。警備業全般の人財不足の影響により、警備員の供給が追い付いていないことを工事受注会社も理解しているため、警備員の確保(とり合い)が始まってきた。 <警備業> ・4月に入って支援金の申請が急が増えた。経営そのものが支援金に頼るようになってきている気がする。経営者としての力量が悪化しつつあるような気がする。 <税理士> ・年度始めは人事手続が増加し、電子申請でも遅延が生じ安い。健康保険証が早く欲しい人にはマイナンバーカードの保険証登録を勧めてきたが、マイナ保険証利用による初診料増額を後出しで聞かされ、お勧めし辛くなってしまった。 <社会保険労務士> ・顧客の減少。資材価格高騰に伴う出費増。 <自動車一般整備業> ・燃油費の高騰、人手不足。 <一般貨物自動車運送業>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・GWは浜松まつり他、街中でもイベントが開催され、活気が見受けられた。 <ディスプレイ業> ・人通りは増えてきた。が、品物が入らない状態が続いている。入荷未定が多く品薄。原油価格の高騰、物価の値上げが著しいが、賃金を上げたくても売り上げが伸びないので難しい。あとどれくらいこの状況が続くかによっては、店舗閉鎖のところも増えるだろう。 <同業団体(商業)> ・コロナ感染症、半導体不足、ウクライナ情勢等の影響が先行き不透明である。 <事業協同組合(機械)>

●皆様の声をお聞かせください。

■新型コロナウイルスの被害・影響について

- ・中国上海のロックダウンによる影響により部品不良による親会社からの受注の減少が不安。 <事業協同組合(鉄)>
- ・新型コロナの感染者増加で外食が伸びない。 <経営コンサルタント>
- ・新型コロナ感染症の分類を5類にすべき。 <乾物(卸)>
- ・一つの例として浜松まつりは開催されるものの、以前のような規模では開催されない。しかしイベント警備・商業施設での警備等、昨年よりも警備員の必要性が回復してきた。 <警備業>
- ・4月が終わり5月の頭までGWでの人の流れが多く、感染者の増加が心配だが、なんとか経済を回していけるよう様々な対策、施策を期待する。 <楽器(製)>
- ・GWは人手も多かった半面、感染者数の増加が見られる。 <ディスプレイ業>
- ・今後、コロナウイルスに対してどのように対応していくべきか苦慮している。(自宅待機や3密回避等) <物流運搬設備(製)>

・早くインフルエンザなどと同様の対応で良いようにして欲しい。

<一般貨物自動車運送業>

・コロナ支援金は、支援していただけるパーセントにギリギリ外れて、全て対象外になり状況が厳しい。
対象枠を増やす等措置に期待。

<ガス機械(卸)>

・現状対応が難しいのが最大の問題。

<事業協同組合(機械)>

■原油・資材価格の高騰、品不足について

・資材価格は4月の値上げで一旦落ち着いている。

<木製品(製)>

・価格の高騰はしばらく続きそう。

<木製家具(製)>

・ガソリン、燃料代が高騰しており、経費削減に苦慮している。

<事業協同組合(鉄)>

・デジタル化による半導体不足やコロナ禍の部品調達難、材料の高騰が続いており受注形態や業種を問わず生産体制への影響が大きい。

<事業協同組合(ものづくり)>

・亜鉛、ニッケル等の資材が高騰しており、先行きが見えない。

<事業協同組合(鍍金)>

・化学染料や輸入綿花等の価格に原油高騰や円安の影響が大きく出ている。

<注染ゆかた(加)>

・原油、資材価格の高騰にて値上げが発生。

<電気配線工事業>

・資材の価格高騰が不安。

<木製家具(製)>

・4月よりメーカー各社掛率の変更があり、材料費高騰の影響があり厳しい状況。

<玩具(販)>

・物価の高騰が危惧される。

<茶(製)(販)>

・価格の高騰が続いている。たぶん今後もこの水準で推移するのでは。

<一般貨物自動車運送業>

・国内だけでなく世界的な影響を受けている状況にある。

<茶(製)(販)>

■その他

・少しは落ち着いてきたコロナウイルス、連日報道されるロシアウクライナの戦争、半導体不足、それらによる物価の上昇等、毎日聞こえてくるものでいい話はあまりないが、少しでも前向きに生活していけるようできるだけポジティブに考えていきたい。

<楽器(製)>

・地区で見ると現在はコロナウイルスによる動揺はない。ウクライナ問題についても同様。最近物価が上昇しているが、地区内の社長レベルでみると実感がないという話が多い。

<物流運搬設備(製)>

・自動車部品の製造は需要の増に対応して受注好調であるが、数量変化の振幅が大きく、製造調整を常に行う必要がある。

<事業協同組合(機械)>

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年5月期

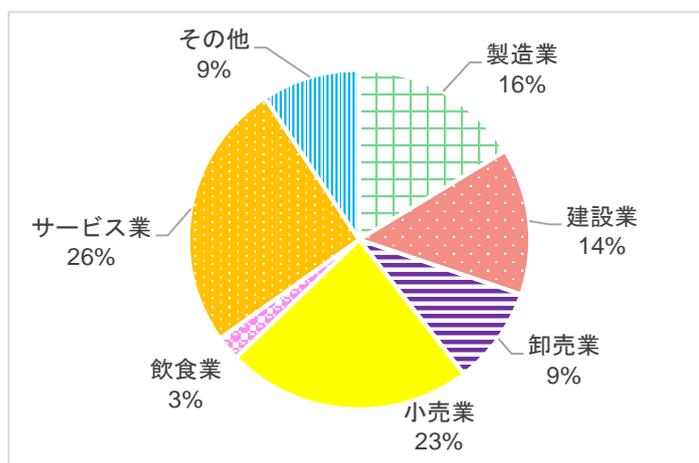
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は43名（回答率は64.1%）

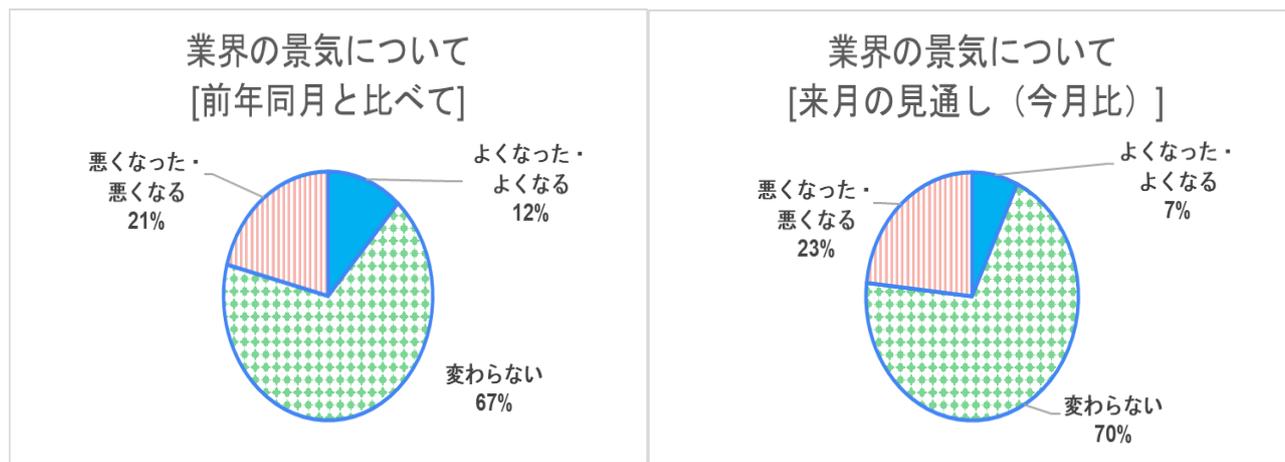
業種	回答者数	構成比
製造業	7	16.2%
建設業	6	13.9%
卸売業	4	9.3%
小売業	10	23.2%
飲食業	1	2.3%
サービス業	11	25.5%
その他	4	9.3%
計	43	100.0%



調査結果のポイント

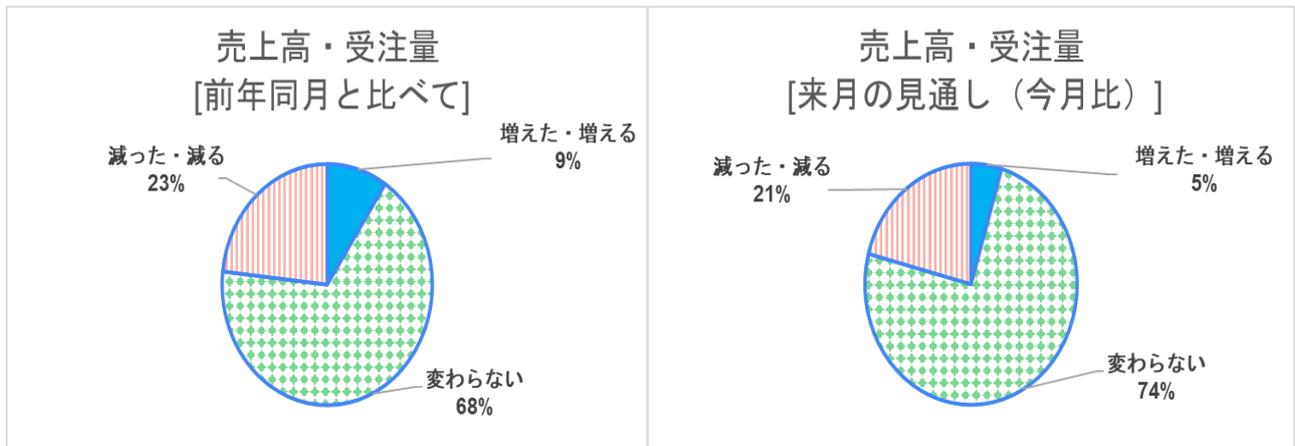
<景況>

- ・2022年5月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が11.6%、「変わらない」が67.4%、「悪くなった」が20.9%となりました。
- ・2022年6月以降の見通しについて、5月と比較して、「よくなる」が7.0%、「変わらない」が69.8%、「悪くなった」が20.9%となりました。



<売上高・受注>

- ・2022年5月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた・増える」9.3%、「変わらない」が67.4%、「減った」が23.3%となりました。
- ・2022年6月以降の見通しについて、5月と比較して、「よくなる」が4.7%、「変わらない」が74.4%、「減った」が20.9%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界内に関するコメント
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・業界的にも去年の同じ時期より増えている傾向にある。 <菓子小売業(製・小)> ・材料不足のため材料費が高騰している。得意先がその負担額を売上に上乘せしてくれることになっているが、材料の仕入代金の支払い時から売上入金時までの期間が長いので、その間の資金の確保が必要となっている。 <税理士> ・原材料の値上がりが激しい。 <木製品(製)> ・人手不足で人材確保に努めているが、新卒・中途とも採用難を強く感じる。 <事業協同組合(ものづくり)> ・自動車業界の操業短縮で稼働時間が短い。 <事業協同組合(鍍金)> ・9月あたりに更なる大幅な値上げがくるようだ。みんな戸惑いが大きく、注文に慎重さがでている。 <注染ゆかた(加)> ・6月、7月と価格の変更がきている。まだまだ上昇しそう。 <木製家具(製)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナとウクライナ情勢による木材の高騰で、工事価格が上がってしまい、お施主さんの予算と調整するのが難しい。 <建築工事業> ・ますます厳しく、いい話も聞かない。 <サッシ・ドア(製)> ・原材料の高騰。 <木製家具(製)>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯器の入荷が不安定。 <ガス機械(卸)> ・値上幅が大きくなり仕入価格が高騰している。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)> ・飲食店とのお取引が主だが、コロナの落ち着きとともに注文回数とともに注文数が伸びている。 <農産物(卸・加工)> ・ドライバーを募集中しているが、なかなか応募がない。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新車納期遅れの影響で、受注停止になる車種が増えてきた。受注もできないとなると、ますますこれからの車販が心配である。 <自動車(小・修)> ・鉄くずの相場が上がっているが、依頼がないので売ることがない。 <鉄材料(販)> ・上海封鎖の影響で部品が入荷しない為、家電製品の製造が著しく遅れている。 <家庭電化製品(販)> ・野菜・果物共に高値ではあるが、比較的安定供給されており、この先梅雨入りで供給がどうなるか不安である。 <事業協同組合(青果)> ・GWに行動規制が解除され、人の動きが活発となった。石油製品販売量も前年に近くまで回復したが、原油価格の上昇は止まらず、政府の補助金も増額されたものの、追いつかない状況。安定した価格の維持が望まれる。 <事業協同組合(石油)> ・仕入金額の上昇と販売単価の下降で利益が出ない。 <花・植木(小)>

小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入品であるLPガス仕入価格は円安の影響を受けて過去最高水準まで上昇しているが、同業者や他エネルギーとの競争や社会情勢等により十分な価格転嫁が出来ず、厳しい経営状況が続いている。 <燃料(小)>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入値上昇で、販売価格に悩んでいる。お客様は戻ってきた。 <茶(加・小)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前には到底届かないが、GWではイベントに伴う警備業務が少しずつ戻ってきた。一方で、鹿島・遠州の花火は中止が発表された。警備業の観点から見てもコロナ前に戻るにはまだまだのようだ。 <警備業> ・支援金申請が終了して、これからが経営の力が問われる。お客様を呼ぶのに何をすべきか見つけるきっかけを関与先と築いていきたい。 <税理士> ・コロナ感染以外にも原油高や諸材料不足等、複合的な影響がでている。同業種内でも企業間格差はますます開いているように思われる。付加価値経営の重要度が高まっている。 <税理士> ・依然として新型コロナ感染のリスクはあるが、急激な気温上昇による熱中症リスクも侮れない。故にここらが脱マスクのタイミングではないかと感じている。 <社会保険労務士> ・コロナの感染者が減少しているが、顧客のガードが堅い。 <経営コンサルタント> ・認知症対策の相談が増えた。 <司法書士> ・価格高騰と顧客減少に悩む。 <自動車一般整備業> ・原油高・円安の影響で苦勞している。 <一般貨物自動車運送業>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ここにきて材料の値上げや納期問題が深刻になってきた。 <ディスプレイ業> ・まちなかの人出は増えた感じがするが、飲み代ひとつとっても、単価が下がり、人出=利益とはならない。物価上昇が急激過ぎて、まだまだ厳しい状況は続くと思われる。 <同業団体(商業)> ・仕入価格が5%以上上昇しており部品不足それ以外の経費が増加している。受注はあっても部品不足で生産できないものもある。 <事業協同組合(鉄)> ・インボイス制度が浸透していない。 <実業団体(税務)>

●皆様の声をお聞かせください。

■新型コロナウイルスの被害・影響について

・世界的な新型コロナ流行の影響で部品の供給が不安定となっており、それが製造業の稼働状況を不安定にしている。そのため、それらに付随した物流も滞っており、結果として実車率が下がり、1台あたりの売上も落ちている。 <一般貨物自動車運送業>

・家族などが感染すると陰性であっても濃厚接触者は出勤させることができず、そのフォローにあたる人員の確保など対応に追われている。早くインフルエンザ並みの対応とならないだろうか。 <一般貨物自動車運送業>

■原油・資材価格の高騰、品不足について

・お菓子に使う材料や包装資材も確実に上がっているので値上等をして対応するしかない。 <菓子小売業(製・小)>

・資材の他、日用品の価格高騰。 <ディスプレイ業>

・エアコンの工事部材の値段が高くなってきた。工事価格の値上げを検討しなければならない状況。 <家庭電化製品(販)>

・長期化するロシアのウクライナ侵攻により、小麦不足だけでなく食料品全体の価格が上昇し、影響が出そう。 <事業協同組合(鉄)>

- ・燃料となる軽油価格が高騰している。政府が対策として補助金を出してはいるが、それでも高い。また原油高・円安はエネルギー価格全体が上がる要因にもなっており、冷凍冷蔵倉庫の電気代も高騰している。 <一般貨物自動車運送業>
- ・国の原油高騰対策があまりにもお粗末ではないかと感じている。特に農水省の原油高騰対策は困っている人をふるいにかけてから助成金を出すので、本来の趣旨とは乖離しているように感じている。 <農産物(卸・加工)>
- ・資材板材の高騰による、見積り最終NETの提示金額の熟慮に時間がかかる。 <木製家具(製)>

■インボイス制度について

- ・税理士と相談しながら進めており問題は感じていない。 <一般貨物自動車運送業>
- ・インボイスについて説明するのが難しいし、隅々まで浸透するには時間がかかりそうだ。 <注染ゆかた(加)>

■その他

- ・工事・作業に伴う警備業務は、特段の影響が無くなった。 <警備業>
 - ・マスコミによるコロナ感染者数の表現は、不要だと思う。 <建築設計業>
 - ・脱マスクのタイミングは行政が一斉告知でもしないと無理ではないだろうか。特に子供の熱中症リスクを考えるとマスクはもういらなと思う。 <社会保険労務士>
 - ・補助金の増額。 <ガス機械(卸)>
 - ・補助金・助成金を配布するのは抑制すべき。 <木製品(製)>
 - ・助成金は良いですが、助成金の増額を、お願いしたい。 <家庭電化製品(販)>
 - ・雇用調整助成金は止めないでいただきたい。 <注染ゆかた(加)>
- 以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年6月期

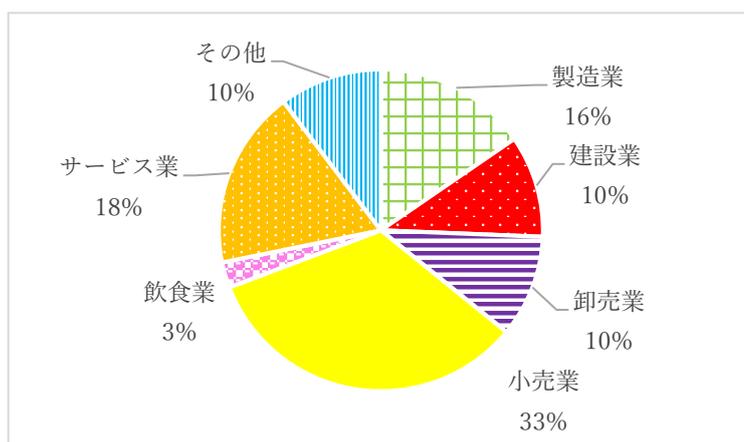
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は39名（回答率は58.2%）

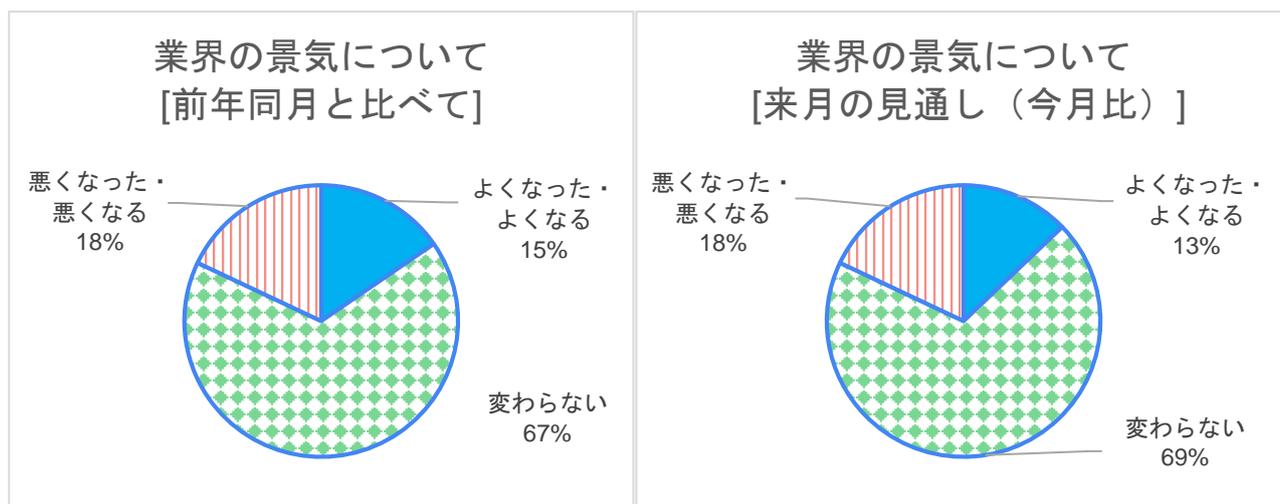
業種	回答者数	構成比
製造業	6	15.4%
建設業	4	10.3%
卸売業	4	10.3%
小売業	13	33.3%
飲食業	1	2.6%
サービス業	7	17.9%
その他	4	10.3%
計	39	100%



調査結果のポイント

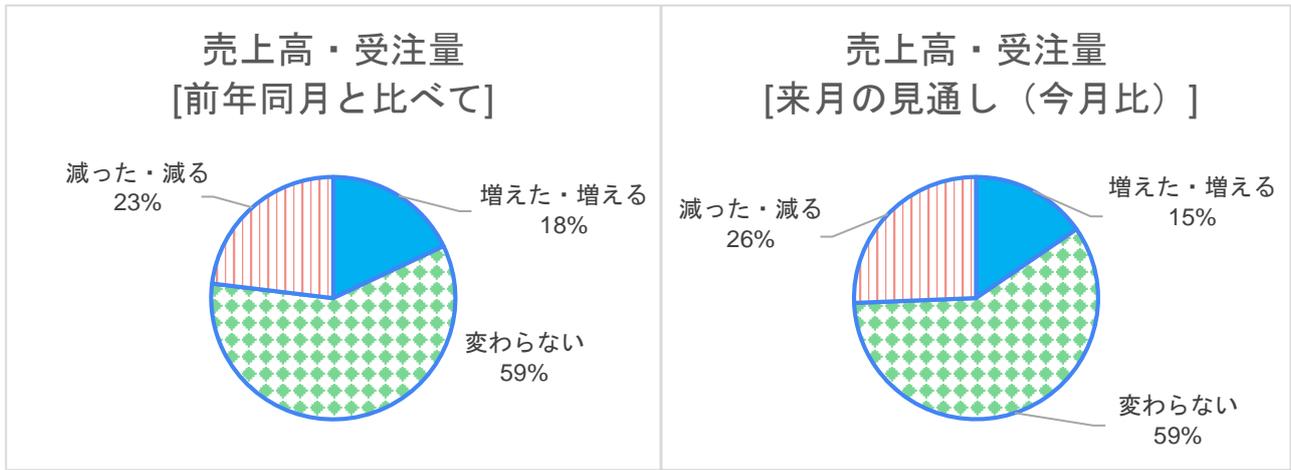
<景況>

- ・2022年6月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が15.4%、「変わらない」が66.7%、「悪くなった」が17.9%となりました。
- ・2022年7月以降の見通しについて、6月と比較して、「よくなる」が12.8%、「変わらない」が69.2%、「悪くなった」が17.9%となりました。



<売上高・受注>

- ・2022年6月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた・増える」17.9%、「変わらない」が59.0%、「減った」が23.1%となりました。
- ・2022年7月以降の見通しについて、6月と比較して、「よくなる」が15.4%、「変わらない」が59.0%、「減った」が25.6%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界内に関するコメント
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・相変わらず物価の上昇が厳しい。売上自体は少しずつ戻ってきているが、仕入れが増えるので厳しい状態に変わりない。 <楽器(製)> ・円安と戦争の為輸入資材がさらに入手しにくくなっている。物価高となっている。 <木製品(製)> ・仕事の受注が減った。 <木製家具(製)> ・当組合の一社が、資材の高騰受注難等の影響を受け、廃業予定。一方海外量産の子会社を持つ企業はパーツ高円安により、配当率は同じでも海外からの入金が多くなっている。 <事業協同組合(鉄)> ・原材料の高騰が収益性を著しく悪化させている。 <事業協同組合(鍍金)> ・原材料の値上げ。 <木製家具(製)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体不足による住設機器の納期が1か月以上遅れていて、竣工が遅れている物件がみられる。 <建築工事業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・7月から第二弾として大幅に仕入価格が値上りする。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)> ・相次ぐ値上りや品不足の影響で、生産が減少している。 <鑄材(卸)> ・資材等の価格が高騰しているが販売価格に転嫁できずに困っている。 <農産物(卸・加工)> ・毎日値上げの見積りが届く。まだお客様には認めていただけているが、秋以降もさらなる値上げが続きそうで、どうになってしまうのか未知の領域。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響が明けて、徐々に回復しつつあったが、またここにきてコロナが増えたので、また制限や自粛する傾向になるのが心配。 <菓子小売業(製・小)> ・新車納期遅れが深刻で、自動ブレーキなどの先進技術が多く含まれる車は特に遅れが目立つ。この状況が2024年までは続くと考えられているので、この先が不安である。 <自動車(小・修)> ・原材料の高騰や輸送コストの増加によって、今秋にも今年2回目の値上げがありそう。不景気にコスト上昇が追い討ちをかけ、利益を出すことが今年は非常に難しい年になりそう。 <自動車タイヤ(小)> ・プーチン大統領は、ロシア極東の資源プロジェクト「サハリン2」の運営会社の資産をロシアの新会社に移すことを定めた大統領令に署名した。ロシア産天然ガスの供給が止まると、都市ガス・電気はもちろんLPガスへの影響も必至であり、大変憂慮すべき状況である。 <燃料(小)>

小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・材料を注文しても入荷が遅い。非鉄材の価格が上昇し、特に銀が値上がりしロウ付け作業に支障が出る。 <鉄材料(販)> ・売価の値上げと掛け率の変更の連絡が、メーカーや問屋から増えた。 <玩具(販)> ・家電メーカーの企業努力で、価格を据え置いていた商品群が、夏商戦終了後、販売価格が値上がりする。一例だが、冷蔵庫は10%程度、値上がりする。お客様に理解してもらえない。 <家庭電化製品(販)>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・自粛生活が開放され始めていることと、晴れの日も多いので、外へ人が動きはじめている。通販は縮小して実店舗売上は上がっている。 <茶(加・小)> ・魚や野菜等の食材の値段が高騰して困惑している。 <事業協同組合(食堂)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響が残っている。最近、感染者数が増加している。 <経営コンサルタント> ・人材獲得ができていないため、既存の人材での売上となり、仕事はあるが売上は頭打ちが続いている、という会社が警備業には多い。 <警備業> ・コロナの今後が不透明で対応がとりにくい。規制が解除されて客足は戻って一安心。これからはサービスを充実させていきたい。 <税理士> ・製造業では仕入コストの上昇に対する販売単価の値上げが追い付いていかない状況。小規模になるほど利幅はなくなっている。医療業においては高齢患者が戻ってきており収入面で改善がみられる。コロナ感染の今後が心配される。 <税理士> ・6月でInternet explorerのサポートが終了したが、電子申請対応策の周知が行き届いていないようだ。算定基礎届の提出時期だけに影響がなければいいが。 <社会保険労務士> ・自動車部品関連製造業では中国ロックダウン解除に伴う生産調整も一段落してフル操業の状態の企業もある。 <事業協同組合(機械)>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇と人材不足。 <ディスプレイ業> ・売りたいくても部品が入らないとの話を耳にする。 <同業団体(商業)>

●皆様の声をお聞かせください。

■新型コロナウイルスの被害・影響について

- ・マスク着用が当たり前の世の中だが、警備業の中には外現場もあることから、その様な現場の場合には熱中症対策も考慮し、体調・コロナ対策管理に留意するよう指導している。 <警備業>
- ・コロナの感染が一気に広がってきたので、来年の大河ドラマの集客がかなり心配。 <菓子小売業(製・小)>
- ・新型コロナによる納期遅延で在庫を抱えなくてはいけない状況。メーカーによる値上げや石綿飛散による法律改正等の影響を受けている。 <ガス機械(卸)>
- ・コロナウィルスの感染状況がまた拡大傾向にあるので、これからの繁忙期に向けて非常に気になるところ。行動制限等ではない対策を考えてもらいたい。 <楽器(製)>
- ・市が公表するコロナの感染者数について、感染者を年代別業種別に分けるなど統計として細かく発表してくれると対策を講じやすい。 <物流運搬設備(製)>
- ・浜松市でも感染者数が急増している。至急対策を講じてほしい。例えば若年層へのワクチン接種PR強化。 <経営コンサルタント>
- ・安心安全がいつの間にか経済優先にすり替わっている感があるが、コロナ感染症が増加している現状で感染抑制を自己責任とされては、対応の分断を起こしてしまうのではないかとの危惧がある。 <事業協同組合(機械)>
- ・コロナワクチンの4回目の接種を、急ぐ必要がある。 <家庭電化製品(販)>

・コロナの発生元が不明であること。

<茶(製)(販)>

■原油・資材価格の高騰、品不足について

・円安、ウクライナ情勢で原油、小麦などの高騰により生活物価の値上り感が顕著である。便乗値上げもあるのではないかと疑ってしまうほどの値上げラッシュである。参議院選挙で生活改善政策を言う前に政府は何をしているのかと憤慨してしまう。

<事業協同組合(機械)>

・材料費の高騰がとまらない。

<木製家具(製)>

・光熱費やガソリンの高騰が辛い。徐々に売上が回復しているが、経費で食われている。

<ディスプレイ業>

・目に見えないインフレ、いわゆる食品のパッケージが小さくなって値段は同じ。飲食でもサイズが小さくなり購入するスパンが短くなってきている。

<事業協同組合(鉄)>

・円安・ウクライナ情勢などにより、資材の高騰が著しく、経営状況が悪化している。

<事業協同組合(鍍金)>

・資材の高騰については、価格転嫁が難しい。

<木製家具(製)>

・原油、資材価格の高騰がメーカーに受け入れられにくい現状がある。

<鑄材(卸)>

・諸物価の高騰が影響している。

<経営コンサルタント>

・今年4月に包装資材が上がり、さらに来年の4月も値上げ予定と連絡があった。

<茶(加・小)>

■インボイス制度について

・インボイス制度・電子帳簿保存法について、対策を開始した。そんなに難しいことではないので早めに対策できた。

<楽器(製)>

・準備期間を考えると、制度導入までもう1年しかないと考えている。R5.10月までの具体的なスケジュールを立てることが必要。

<税理士>

■その他

・色々な原因が重なって需要の見通しが不明瞭であるため、製造計画を立てにくい。

<木製品(製)>

・電子帳簿保存法について知らない小売店が多い。啓蒙活動が必要だと思われる。

<家庭電化製品(販)>

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年7月期

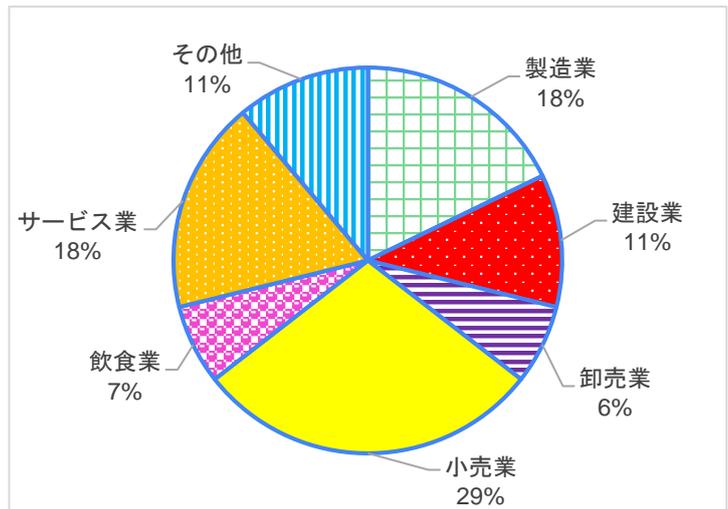
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は45名（回答率は67.1%）

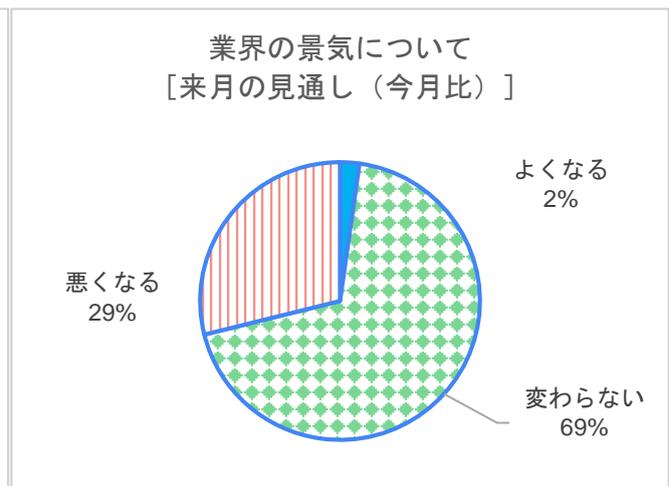
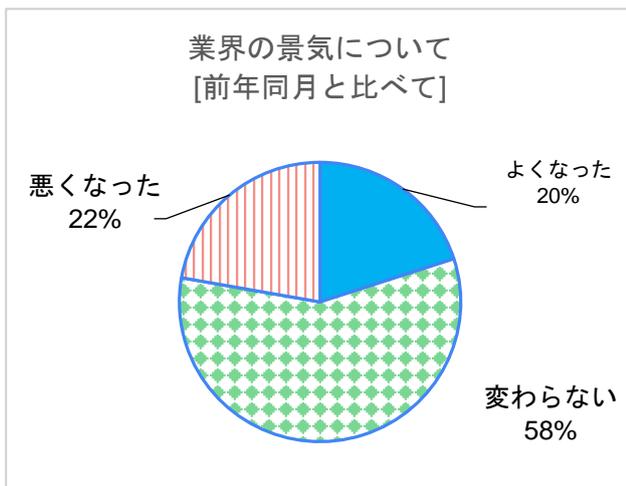
業種	回答者数	構成比
製造業	8	17.7%
建設業	5	11.1%
卸売業	3	6.6%
小売業	13	28.8%
飲食業	3	6.6%
サービス業	8	17.7%
その他	5	11.1%
計	45	100%



調査結果のポイント

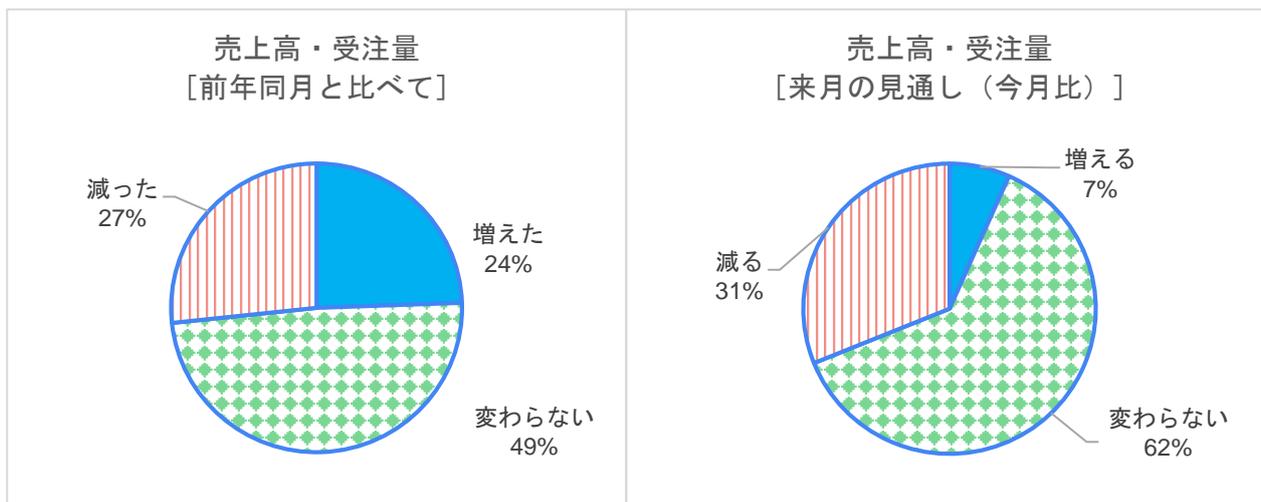
<景況>

- ・2022年7月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が20.0%、「変わらない」が57.8%、「悪くなった」が22.2%となりました。
- ・2022年8月以降の見通しについて、6月と比較して、「よくなる」が2.2%、「変わらない」が68.9%、「悪くなる」が28.9%となりました。



<売上高・受注>

- ・2022年7月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」24.4%、「変わらない」が48.9%、「減った」が26.7%となりました。
- ・2022年8月以降の見通しについて、7月と比較して、「よくなる」が6.7%、「変わらない」が62.2%、「減る」が31.1%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界内に関するコメント
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・円安、物価上昇、コロナ等相変わらず状況として厳しいことに違いない。コロナウイルスの感染状況も爆発的に増えたことで、今後の影響が気になる。 <楽器(製)> ・円安の影響で輸入資材がさらに上昇しそう。 <木製品(製)> ・夏休みの予定が出て、その前に材料が確保できるか心配である。 <木製家具(製)> ・新型コロナ感染症の変異種の感染が急拡大している。 <事業協同組合(機械)> ・自動車業界の減産の影響が大きい。 <事業協同組合(鍍金)> ・原材料の値上げが続いている上に毎日使っている重油の値段が下がってこないことで利益を出すのは難しい。 <注染ゆかた(加)> ・原材料の高騰が原因で建築物件の案件が減少している。 <木製家具(製)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシアのウクライナ侵攻の影響で、住設機器の部品の供給不足で納期が遅れている。 <建築工事業> ・建設部資材の価格の高騰で先が見えない状況である。鉄鋼関係の上昇が読めなく、石油関係の材料の価格アップの情報も多数寄せられている。仕事の案件はあるが、価格の折り合いが合わずに、受注につながっていないケースも見受けられる。 <建築設計業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・鋳造業界は全般的に自動車関連や機械類の受注減になっている。 <鋳材(卸)> ・飲食関係が主な取引先だが、コロナの感染状況が厳しくなって注文が減るのを覚悟したが、以前に比べて思いのほか注文が減らなかった。コロナに対する気持ちの免疫が付いているような気がする。 <農産物(卸・加工)> ・新型コロナ第7波の影響か、値上げの影響か分からないが、売上に急ブレーキがかかったように思う。 <菓子材料(卸)> ・コロナによる器具の供給不良に悩まされている。 <ガス機械(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新車の納期遅れで中古車相場も高くなり、仕入ができにくい状態のため、売れた後に補充できる車が無く、展示車が段々と少なくなってきて困っている。 <自動車(小・修)> ・9月、10月に相次いで今年2回目のタイヤ価格改定(値上げ)が発表された。大変な1年になりそう。 <自動車タイヤ(小)> ・浜松でコロナ感染者数が多い。その影響が見られる、顧客が減少している。 <経営コンサルタント> ・仕入れ値が上がっている。 <玩具(販)>

小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染が増大している。 <米穀類(小)> ・今年の夏商戦は、エアコンを中心に昨年より全体的に良かったと思われる。電子レンジの受注停止が長く続いたが、受付が再開され、商品が入荷してくる。 <家庭電化製品(販)> ・最近の天候不順による雨の影響で農作物の収穫不良と野菜、果物の高値が心配である。 <事業協同組合(青果)> ・日本銀行は円安容認姿勢を継続しているが、エネルギー価格の上昇とそれに伴う物価高は国民生活に悪影響を及ぼしており、疑問を持たざるを得ない。 <燃料(小)>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・30℃超えの暑い日は少し値上がりした、かき氷でも売れ行きは好調。どんなニュースがあっても暑さにはかき氷が強い。 <茶(加・小)> ・材料の価格が高騰している。 <事業協同組合(食堂)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの感染者数が増加している傾向を受け、自粛の意識は継続しているものの海外での規制が緩和しているためマインド的には自粛のハードルは低くなっているようだ。 <税理士> ・花火大会等のイベントが戻りつつあり、それに伴い警備なども戻りつつあるので少しずつ回復している。しかし相変わらずの人財確保が難しい状態。 <警備業> ・コロナで全く見通しが立たないという関与先が増えた。こんな時こそ会議所の各セミナーへ参加して経営力を付けて欲しい。チャンスである。 <税理士> ・労働保険・社会保険の届出が終わり少し落ち着いた。年度後半からは最低賃金や雇用保険料のアップ、社会保険の適用拡大などがあるので周知に努めなければならぬだろう。 <社会保険労務士> ・燃油価格が相変わらず高騰したままである。自動車を中心としたメーカーの稼働が不安定。また輸出入関連も不安定。 <一般貨物自動車運送業> ・静岡県の盛土条例が施行されたことで土木建設・不動産業界へ影響がある。 <行政書士> ・若手警備員の確保が難しく、警備員の高齢化が加速している。 <警備業>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・続く猛暑に体調不良者が多く出ている。熱中症対策の空調服やエアコンの増設など、支出が大きい。働き方改革で中小企業は首を絞められているので、こういった仕事環境の整備についての助成金を是非検討して頂きたい。 <ディスプレイ業> ・燃料費電気代他様々な経費が利益の足かせになっている。 <事業協同組合(鉄)> ・個人事業主のインボイス制度への周知が行き届かない。 <実業団体(税務)> ・原油の上昇はあるが、販売数量は前年並みコロナの行動制限も緩和され、暑さも寄与した。旧盆商戦に期待もコロナの状況が気になる。 <事業協同組合(石油)>

●皆様の声をお聞かせください。

■新型コロナウイルスの被害・影響について

- ・これまで、身近な人間での感染はほぼ聞かなかったが、最近身内や知人で感染するケースが増えてきた。感染していなくても濃厚接触者になり出社できないケースが多く、会社の運営に大きく影響が出ているところも多いようで、感染の拡大を強く感じる。 <楽器(製)>
- ・ここにきて身近な人に感染者がでてきた。原油、資材の高騰も大打撃だが、この暑さによる体調不良者が続出し現場が回っていない状況。 <ディスプレイ業>
- ・感染が拡大しても来客数は変わらなくなってきた。 <玩具(販)>
- ・若年層のワクチン接種を、急ぐ必要がある。感染者が減るところか、増加傾向、方策はないのか? <家庭電化製品(販)>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響は大きい。特に子どもが感染した場合、そこから濃厚接触者となり出勤させる訳にはいかず、その後奥さん、本人と感染し結果的に2週間程度出勤できなくなってしまう。このことが人手不足に拍車をかけている。 <一般貨物自動車運送業>
- ・コロナ感染が急拡大していて、従業員が多数感染し、総務が対応に苦慮している。 <事業協同組合(機械)>
- ・感染者や濃厚接触者が急増し生産製造体制に支障が生じている。 <事業協同組合(ものづくり)>
- ・早く5類にしてくれないと、行動に制限が大きく色々難しい。 <楽器(製)>
- ・病院のひっ迫。コロナ以外の病気への対応に不満を感じてならない。 <ディスプレイ業>
- ・新型コロナは世界で日本が最も感染者が多いにも関わらず、入国の手続きがとて面倒。ルールを変える判断が遅く、誰も方針をはっきり述べない事が問題。 <木製品(製)>
- ・感染は子供達からが多いみたいで夏休みの子供の行動が心配。 <木製家具(製)>
- ・海外から日本に戻る際に陽性判定された場合の隔離期間が長い。 <物流運搬設備(製)>
- ・ワクチン接種を急ぐべき。感染者の自宅待機の日数を減らすことは出来ないのか。 <家庭電化製品(販)>
- ・1日も早く5類へ移行されることを希望する。 <一般貨物自動車運送業>
- ・新型コロナ感染症の罹患検査の更なる充実を希望。 <事業協同組合(機械)>
- ・浜松市でもコロナが増え続けており高校生・20~30代の世代にもっとワクチン接種を推奨してほしい。 <事業協同組合(鉄)>

■原油・資材価格の高騰、品不足について

- ・原油や電力料金の高騰で商品によっては2度、3度の価格改定があり、販売価格に転嫁できない状況にある。 <鑄材(卸)>
- ・予定どおり8月に資材価格が上がった。 <木製家具(製)>
- ・電気料金の高騰、原材料高が経営を圧迫している。 <事業協同組合(鍍金)>
- ・色々な資材が発注の度に値上がりしているが、なかなか価格に転嫁できないのがつらい。この先どこかで値上げせざるを得ない状況だが、値上げした際の受注減が心配。 <農産物(卸・加工)>

■インボイス制度について

- ・インボイス制度・電子帳簿保存法を顧客に理解、徹底してもらっている。 <税理士>
- ・内職を使っている業種はかなり敏感になっているが、対策が難しい。 <注染ゆかた(加)>

■その他

- ・浜松市の助成金を期待している事業者がいる。 <経営コンサルタント>
- ・働き方改革と言われるが、建設業界特に住宅業界では、祝日、土曜日も仕事をするので、工務店も休業できない。この体制を変えるための施策や助成金などを考えてほしい。 <建築工事業>
- ・雇用調整助成金が無くなると現実的に会社運営が難しくなることが多い。 <注染ゆかた(加)>

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年8月期

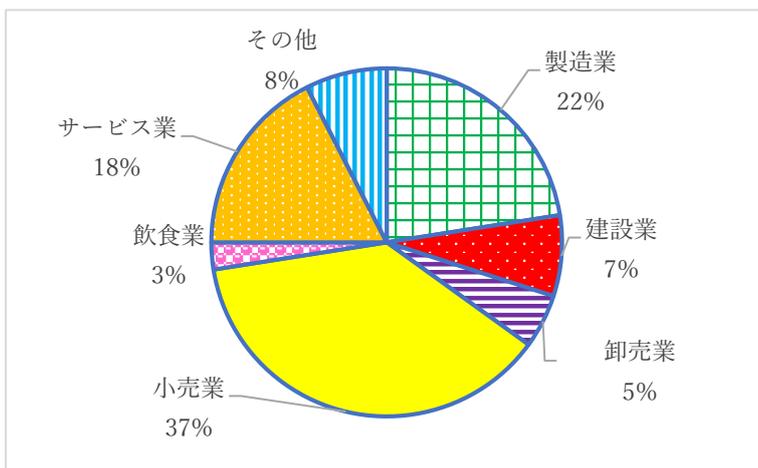
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は40名（回答率は59.7%）

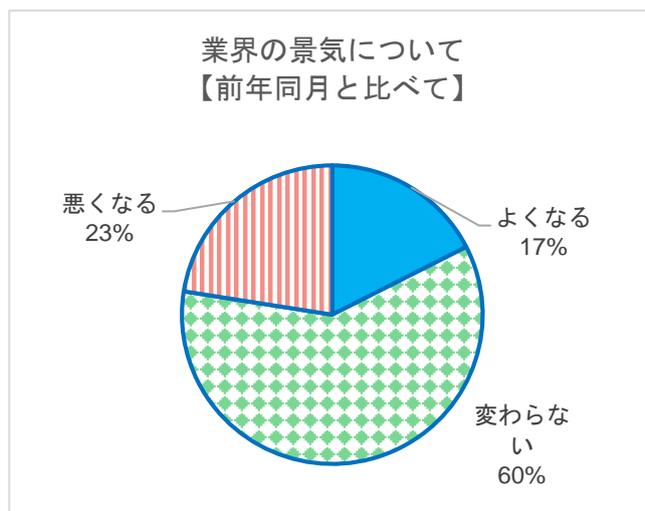
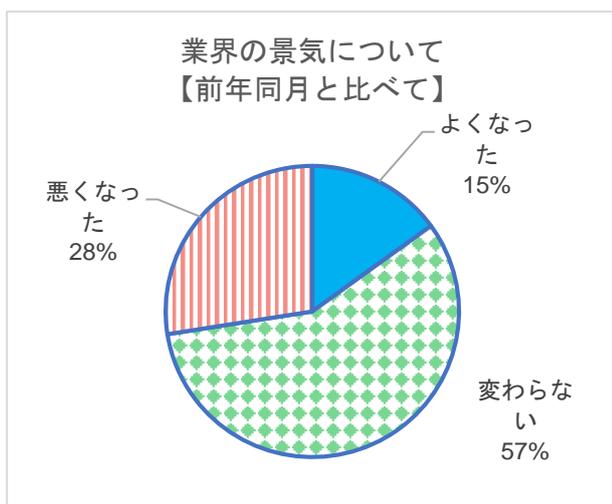
業種	回答者数	構成比
製造業	9	22.5%
建設業	3	7.5%
卸売業	2	5.0%
小売業	15	37.5%
飲食業	1	2.5%
サービス業	7	17.5%
その他	3	7.5%
計	40	100%



調査結果のポイント

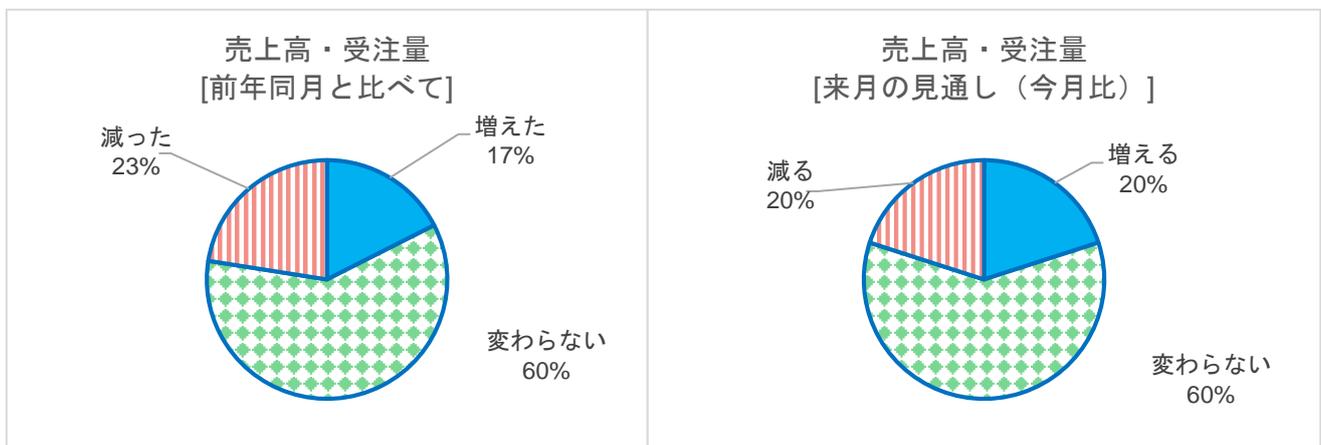
<景況>

- ・2022年8月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が15%、「変わらない」が57%、「悪くなった」が28%となりました。
- ・2022年9月以降の見通しについて、8月と比較して、「よくなる」が17%、「変わらない」が60%、「悪くなる」が23%となりました。



<売上高・受注>

- ・2022年8月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」24.4%、「変わらない」が48.9%、「減った」が26.7%となりました。
- ・2022年9月以降の見通しについて、8月と比較して、「よくなる」が6.7%、「変わらない」が62.2%、「減る」が31.1%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界内に関するコメント
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・依然として、コロナの影響や円高で厳しい状態は続いているが、売上は多少戻ってきた。コロナの感染者が社内で発生し、出勤できない状態が続いた。 <楽器(製)> ・景気回復が遅く、秋以降も期待できない。 <木製家具(製)> ・エネルギー価格の高騰によって収益状況は悪化している。さらに電力の安定供給が心配である。 <事業協同組合(鉄)> ・原材料価格の高騰により、全ての価格が上がっている。一度ならず、二度三度の値上げがきているため、販売価格に反映するのが追いつかない。 <注染ゆかた(加)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・ウッドショックによる材木や建材の値段はある程度落ち着いたが、半導体不足による住設機器の納期遅れがまだ解消されていない。 <建築工事業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・値上ラッシュもコロナ感染も止まらない。コロナ感染でお店の営業ができず数日閉店するということが珍しくなくなっている。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに来てコロナ患者が毎日急増しており、お盆休みも制限がほぼ解除されても、観光地は思ったよりもお客様の入りが伸び悩んだと聞いている。まだまだ皆さんが安心して出掛けれる状況ではないことが推測できる。 <菓子小売業(製・小)> ・現在、新車の納期が平均4~6ヶ月くらい、長い車は1年以上かかるので、来年4月から車が必要な新卒者は、免許を取る前に車を決めなくては間に合わない。売る側も買う側も状況に気持ちがついていけない。 <自動車(小・修)> ・今年2回目のタイヤ価格の改定(値上げ)が来月から始まる。廃タイヤの処分価格も上昇を続けていて、燃料費の増加も併せて、今年の業績が本当に不透明な状態。 <自動車タイヤ(小)> ・コロナ感染者が横ばいのため来店客が減少している。 <経営コンサルタント> ・店舗販売と通信販売の利用の仕方が大きく変化した。ご来店が増え、通販が減った。結果は同じくらいの販売量。 <茶(加・小)> ・最大手の掛率改定によりほとんどのメーカーが影響を受けている。定価は変わらないため利益が少なくなってきており、今後は更に厳しくなる。 <玩具(販)> ・受注停止の商品の生産が再開され始めた。秋には、新製品発表会の予定がある。 <家庭電化製品(販)> ・今月も野菜の高値が続いている。学校給食が再開するので野菜、果物の安定供給が心配である。 <事業協同組合(青果)> ・行動制限がない8月商戦となり、燃料油の販売量は前年を上回った。価格は依然として高値のまま推移しており、買い控えが心配される。 <事業協同組合(石油)> ・買い控えの傾向が強い。 <花・植木(小)> ・円安が止まらない。不需要期にもかかわらず、ガス仕入価格は過去に例を見ない高

小売業	値で推移している。ガソリンや軽油と同様に、ガスも補助金の対象に加えていただきたい。 ＜燃料(小)＞
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・公共工事が始まり、それに伴い交通誘導警備の需要が高まりつつある。しかしその需要に応える供給が追い付かない見込み。(人手不足) ＜警備業＞ ・コロナの状況に慣れてきたせい、忙しさが緩和されてきた。今は平静でも今後が心配。 ＜税理士＞ ・感染者が出て互いに業務を補う体制(ウィズコロナ)が整ってきたように感じる。 ＜社会保険労務士＞ ・燃油価格の高騰が続いている。日野自動車の不正の影響で、老朽化した車両の入替が難しくなっている。業界最大手のメーカーだけに他メーカーも対応しきれず、納期の遅延と車両価格の高騰を招いている。倉庫では電気代が大幅に上がっており、冷凍倉庫の電力費が高騰している。また人手不足も深刻な状況が続いている。 ＜一般貨物自動車運送業＞
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナによる納期遅延が深刻。 ＜ガス機械(卸)＞ ・人は戻ってきているが、売上と結びついていない。 ＜同業団体(商業)＞

●皆様の声をお聞かせください。

■新型コロナウイルスの被害・影響について

- ・現況の感染者数から、感染確率の高さを案じている。従業員の感染による業務受注量の低下を心配している。 ＜警備業＞
- ・ついに社内にてコロナウイルスの感染者が発生し、今までにないほど身近に感染を感じた。商品の製造に影響が出たが、今はもう問題なく稼働している。 ＜楽器(製)＞
- ・コロナで人との接触を減らすためか、紙を使わない小切手、手形を使用しない方へ転換の動きがある。これから先、スマホ、パソコンは必需品で使えないと置いていかれるだろう。 ＜木製家具(製)＞
- ・社員および同居家族の感染が広がっており、人手不足も相まって管理者への負担増となっている。 ＜一般貨物自動車運送業＞
- ・新型コロナの更なる感染拡大に加え、ウクライナ情勢等に伴う不透明な状況が、部品の調達製品の滞留の影響が出ている。 ＜事業協同組合(鉄)＞
- ・マスクなしの生活への移行対策。 ＜木製家具(製)＞
- ・コロナ感染症は拡大しているが、何とか医療崩壊間際で留まっているおかげで経済活動も活発化している。 ＜事業協同組合(機械)＞
- ・新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者の増加によって、間接部門から補充、応援させている。 ＜事業協同組合(ものづくり)＞
- ・弊社でもお盆前に自宅待機者が続出し、通常業務に影響が出てしまった。外出できる条件が緩まっているおかげで復帰が早まっているが、感染リスクはさらに高まっていることも事実で、常に不安がつきまとう。 ＜菓子材料(卸)＞
- ・ウィズコロナで気を付けながら続けている。 ＜鑄材(卸)＞
- ・医療機関への連絡をするように言われても、その医療機関への電話が非常につながりにくい。もうちょっとスムーズにできないものか… ＜楽器(製)＞
- ・現在のような隔離は意味があるのだろうか？医薬品の許認可と5類への移行を早く進めて欲しい。 ＜一般貨物自動車運送業＞
- ・新型コロナウイルスのワクチン接種3回目4回目が若年層に積極的に摂取するようにPRしてほしい。 ＜事業協同組合(鉄)＞
- ・新型コロナウイルスの2類から5類への変更を期待する。 ＜事業協同組合(ものづくり)＞

■原油・資材価格の高騰、品不足について

- ・お菓子の原材料やそれを包む包材などが高騰しており、さらに納期もかなり遅くなっている。
＜菓子小売業(製・小)＞
- ・10月から茶を入れるナイロン素材や不織布素材が10%高騰している。
＜茶(加・小)＞
- ・円安で資材の輸入コストが上がっている。
＜木製品(製)＞
- ・資材価格の値上げが多くなってきた。工事の方法や、材料等を見直ししなければならない。
＜家庭電化製品(販)＞
- ・燃料油価格の高騰、冷凍倉庫の電力費の高騰などへ影響が大きい。また倉庫の建築価格が高騰、営業車両価格の高騰などにも影響が出ている。
＜一般貨物自動車運送業＞
- ・毎日値上げの見積もりが届く。乳製品のように供給が需要を上回っているにも関わらず、値上をせざるを得ないような商品は今後が心配。
＜菓子材料(卸)＞

■インボイス制度について

- ・インボイス制度のわかりやすい説明資料がほしい。
＜鑄材(卸)＞
- ・税理士と相談しながら進めている。こちらは不安な点は少ない。
＜一般貨物自動車運送業＞
- ・インボイス、電子帳簿と同時期すぎて、簡単な説明をしても、理解するまでが大変である。
＜同業団体(商業)＞
- ・インボイス制度、電子帳簿についてはいまいち関心がない。周知が必要だと感じた。
＜注染ゆかた(加)＞

■その他

- ・最近は大雨も厄介だ。業務に支障があった方も少なくないだろう。
＜社会保険労務士＞
- ・最近ようやく街中でのイベント開催が見られ、期待が持てそう。
＜ディスプレイ業＞
- ・現時点で来年3月までの受注の見込みがでている。地区内で同じ規模の会社も同様に特段景気が悪いという話も聞かない。
＜物流運搬設備(製)＞
- ・人手不足は相変わらずの深刻さである。
＜一般貨物自動車運送業＞

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年9月期

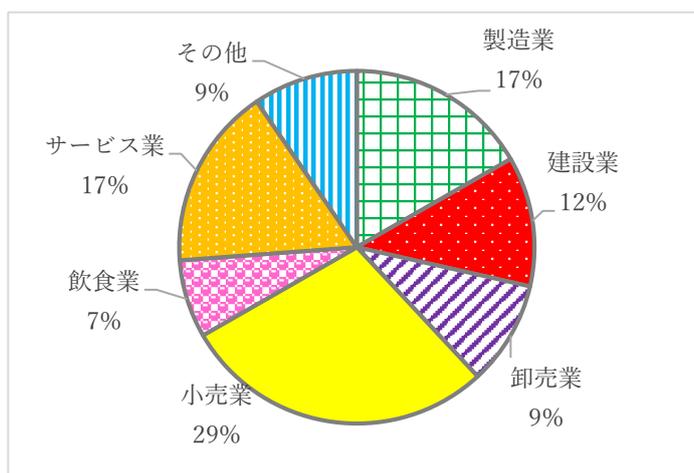
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は42名（回答率は62.7%）

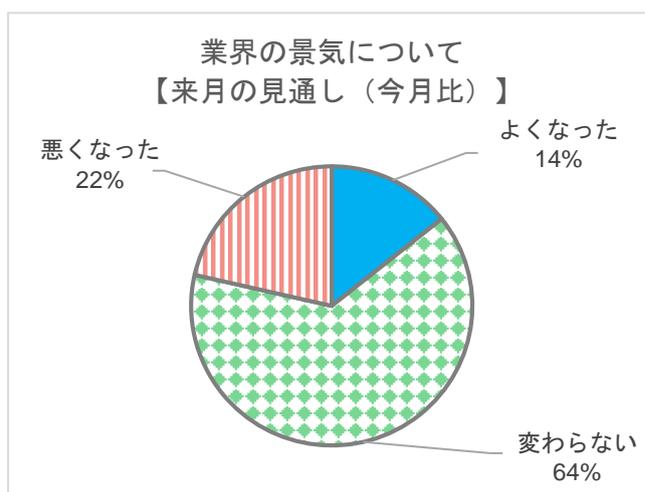
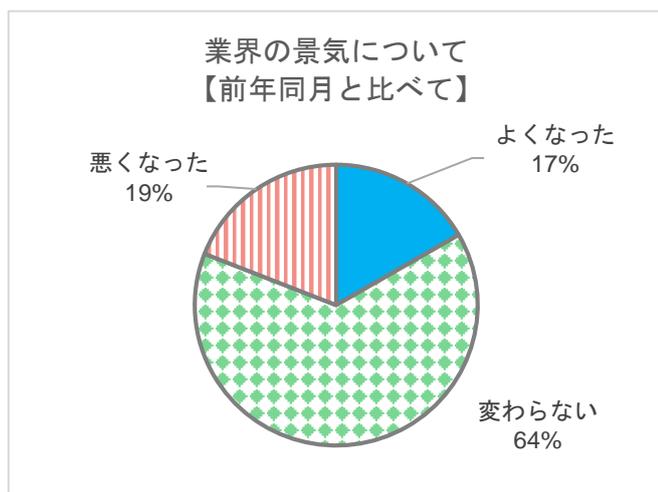
業種	回答者数	構成比
製造業	7	16.7%
建設業	5	11.9%
卸売業	4	9.5%
小売業	12	28.6%
飲食業	3	7.1%
サービス業	7	16.7%
その他	4	9.5%
計	42	100%



調査結果のポイント

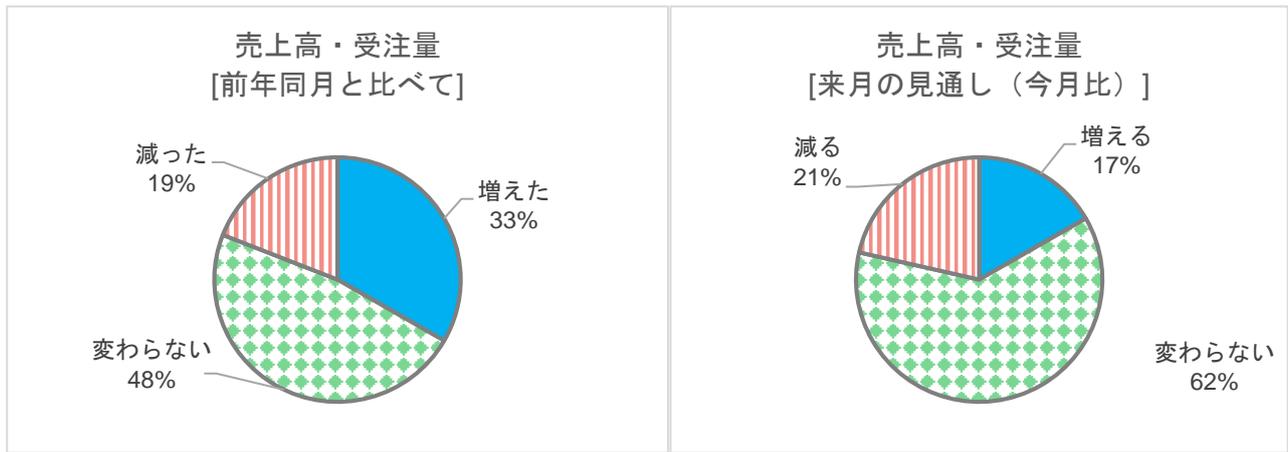
<景況>

- ・2022年9月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が16.7%、「変わらない」が64.3%、「悪くなった」が19.0%となりました。
- ・2022年10月以降の見通しについて、9月と比較して、「よくなる」が14.3%、「変わらない」が64.3%、「悪くなる」が21.4%となりました。



<売上高・受注>

- ・2022年9月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」33.3%、「変わらない」が47.6%、「減った」が19.0%となりました。
- ・2022年10月以降の見通しについて、9月と比較して、「よくなる」が16.7%、「変わらない」が61.9%、「減る」が21.4%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界内に関するコメント
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業期間においてその前後での需要があり、売上は増えたが仕入も増え、なかなか厳しい。物価の上昇はまだ収まる気配もなく先が不安。 <楽器(製)> ・円安により、さらに輸入材の価格が高騰している。 <木製品(製)> ・仕入価格の上昇、受注減少。仕事がしたくても出てこない現状。 <木製家具(製)> ・円安の影響で海外に子会社関連会社を持つ企業は、国内の売り上げは停滞しているものの、ロイヤリティや配当が円安によって増えており、黒字を維持している。 <事業協同組合(鉄)> ・安定しない自動車業界の動きや亜鉛等の原材料高が心配。 <事業協同組合(鍍金)> ・仕入先がコロナの影響で廃業、縮小等をしており、急な需要があった時に対応できない。まだまだ仕事量が少なく、出勤日や出勤時間を減らしているところもあるので、長めに納期を設定している。為替についても先行きが分からないので、更なる値上がりに戦々恐々だ。 <注染ゆかた(加)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・建材や住設機器など、メーカーによる値上げや、割引率の引き下げにより、コスト高になってしまう。 <建築工事業> ・コロナの影響で建築士会等の業界団体の対面での会議がなく、情報収集の場が減っている。忘年会・新年会の準備の見通しも曖昧な状況である。 <建築設計業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・街中地区の飲食店は先月に比べて少し回復基調にある。 <乾物(卸)> ・工作機、木工機の受注が若干増加してきた。 <鋳材(卸)> ・景気が落ち込んできているような感じがする。 <農産物(卸・加工)> ・値上げラッシュが続いている。物流の2024年問題もあり、仕入先の運賃規定も変わってきている。当社としても、配送規程の見直しを行なっていかなければ非常に厳しい。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新車の納期がいよいよ6ヶ月くらいになって来た。来年の新卒者は免許のない今から、車を買わないと4月から乗れない計算になる。異常事態。 <自動車(小・修)> ・メーカーの値上げが10月にあり、9月の駆け込み需要の反動が出ると思う。 <自動車タイヤ(小)> ・インバウンドの緩和策や旅行支援が全国で始まったが西部地区では影響が少ない。 <経営コンサルタント> ・仕入価格の上昇により殆どのメーカーで変更になっている。 <玩具(販)> ・秋商戦スタートする。一部の商品を除いて、電子レンジ等の調理家電の商品は、間に合ってきた。 <家庭電化製品(販)> ・円安の影響により、仕入価格が上昇している。 <花・植木(小)>

小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・先日の台風の影響か、野菜の高騰が続いている。食品の値上げもあり、仕入れと供給が順調にいくか心配である。 <事業協同組合(青果)> ・前年比でみると販売数量は前年より増加している。コロナの影響が少しずつではあるが減少している。原油価格は相変わらず高い状態であるが、政府の補助金のおかげで販売価格は、高い水準ではあるが、落ち着いている。補助金の期限も延長される見通しとなり、しばらくは現在の価格の前後で推移していくと思われる。 <事業協同組合(石油)> ・仕入価格が上昇している。高齢により魚屋が廃業した。 <米穀類(小)> ・OPECプラスは原油の大幅減産を決定した。円安と減産のダブルパンチでさらに値上がりする可能性があり、これから需要期を迎えるガス業界にとって憂慮すべき状況である。 <燃料(小)> ・葵東の小売店の跡地に、コーヒー店が出店。地元の皆様は、楽しみしている。 <家庭電化製品(販)>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の高騰化で原価率が悪化したため、売上商品の値上げに踏み切ったところがある。 <税理士> ・値上げのタイミングを苦闘している。世論的には値上げを受け入れていても、現実的なエンドユーザー様はご納得出来ていない。 <茶(加・小)> ・食用油の値上がりが大きく、困っている。 <事業協同組合(食堂)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・教育関係については、コロナの感染状況が少しずつ落ち着いてきたことから、以前より依頼件数は増えてきた。 <経営コンサルタント> ・道路での工事が本格的に始まり、それに伴い交通誘導警備業務も忙しくなった。荒天による災害の発生により、災害復旧作業が多く発生し、警備員・作業員不足に拍車がかかっている。 <警備業> ・経営状況は変わらないが、コロナ関連で落ち着いてきたせいか、営業もやる気が出てきているようだ。 <税理士> ・どの業種においても売上原価や固定費が増大しており、収益を圧迫している。円安や物価高がどこまで続くのか不安な状況。 <税理士> ・電子申請の窓口 e-Gov がサイバー攻撃により接続障害。2日ほど届出業務が滞った。 <社会保険労務士> ・①人手不足②軽油などの燃料油高騰③日野自動車問題により車両の更新が遅れている。④車両価格や設備の高騰⑤製造業の部品や部材の供給不安定による稼働状況の遅れは徐々に正常化しつつある。 <一般貨物自動車運送業> ・今年7月に施行された静岡県盛り土条例の規制により、事業が停滞する恐れがあり、困惑しているとの声を建設・不動産業者からよく聞く。 <行政書士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ようやくイベントがあちこちで見られ、10月は期待できそう。 <ディスプレイ業> ・急激な円安の影響を受けている。 <事業協同組合(機械)>

■新型コロナウイルスの被害・影響について

- ・弊社もついに感染者が出て、感染状況の拡大を非常に感じた。感染した人に聞くと、世間では最近のコロナウイルスはあまり症状がないという感じで伝わっていたが、実際には悪寒や味覚障害等の症状があった。今はだいぶ世の中も落ち着いてきているが、やはり感染しないに超したことはないと痛感した。

＜楽器(製)＞

- ・コロナの影響によって夜間の飲食、宴会等の需要は減っており、回復の兆しがみえない。 ＜乾物(卸)＞
- ・コロナ感染が下火になって、イベントや祭りごとが若干復活してきた様子が伺える。 ＜鑄材(卸)＞
- ・当組合で行っている食堂で従業員がコロナに感染し、10日程営業を中止した。 ＜事業協同組合(青果)＞
- ・9月半ば頃より落ち着いてきた。しかし、濃厚接触者などが出勤できないため対応に追われている。

＜事業協同組合(機械)＞

■原油・資材価格の高騰、品不足について

- ・円安の影響で更に輸入材の価格が高騰している。また、国産材の乾燥に使用する燃料の高騰の影響で、更に価格が上昇しないか懸念している。 ＜木製品(製)＞
- ・今年に入って、材料費が2回上がり、今の時点で来年1月の値上げ予定もきている。 ＜木製家具(製)＞
- ・燃料やタイヤ、倉庫建設など的高騰・遅れなどに影響が出ている。 ＜事業協同組合(機械)＞
- ・亜鉛等の金属が高騰している。 ＜事業協同組合(鍍金)＞
- ・資材や燃料価格の値上り分を商品に転嫁できない。 ＜農産物(卸・加工)＞

■インボイス制度について

- ・多くの法人格は導入を終えているようだが、個人事業主（一人親方・飲食店）では導入が進んでいないようだ。 ＜警備業＞
- ・全体的に周知度が低いようだ。対応済みと全く対応せずの格差が大きいと感じる。 ＜税理士＞
- ・ニュースになるまでインボイスの公表サイトが個人情報ダダ漏れとは知らなかった。 ＜社会保険労務士＞
- ・インボイスの登録について、アンケートが送られてきた。企業によっては既に登録手続きが完了している所もあり、当社も手続きした。下請けの個人事業主用に、制度内容のわかりやすいパンフレットなどがあると助かる。 ＜ディスプレイ業＞
- ・税理士と協議しつつ対応している。 ＜一般貨物自動車運送業＞
- ・周知が行き届いていない。 ＜実業団体(税務)＞
- ・税理士さんが説明をし始めてきたので、何となくわかっている方も増えてきた。電子帳簿保存法についてはまだ皆さんが気にしていないようだ。 ＜注染ゆかた(加)＞

■その他

- ・商品の配送業者、人手不足の為、配送の日時が当日でなければ分からない時がある。お客様に商品をお届けする日時を変更する事がある。 ＜家庭電化製品(販)＞
- ・業績は若干良くなっているが、電力・燃料など不安定な要素がたくさんある。 ＜事業協同組合(鉄)＞
- ・飲食店のキックバックキャンペーン等、中心市街地がもっと活性化しなければいけない。入居者募集の看板が目立っている。 ＜事業協同組合(鉄)＞
- ・研修生や実習生のなかには母国へ給与の一部を送金している人がいるが、円安が進み不安がでてきている。今後新たに研修生として日本を選択してくれるか、不安である。 ＜事業協同組合(ものづくり)＞

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年10月期

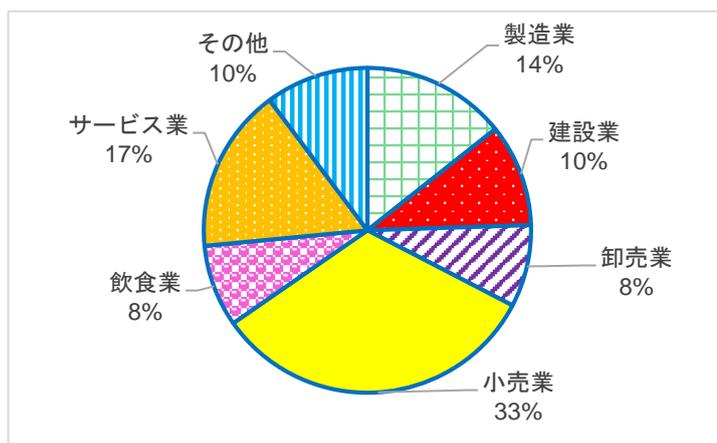
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は49名（回答率は73.1%）

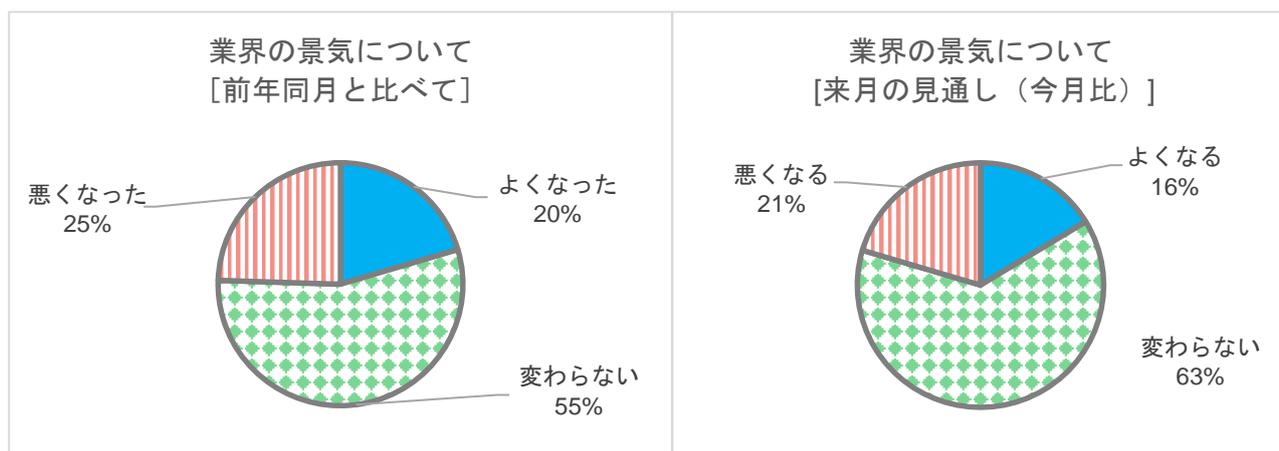
業種	回答者数	構成比
製造業	7	14.3%
建設業	5	10.2%
卸売業	4	8.2%
小売業	16	32.7%
飲食業	4	8.2%
サービス業	8	16.3%
その他	5	10.2%
計	49	100%



調査結果のポイント

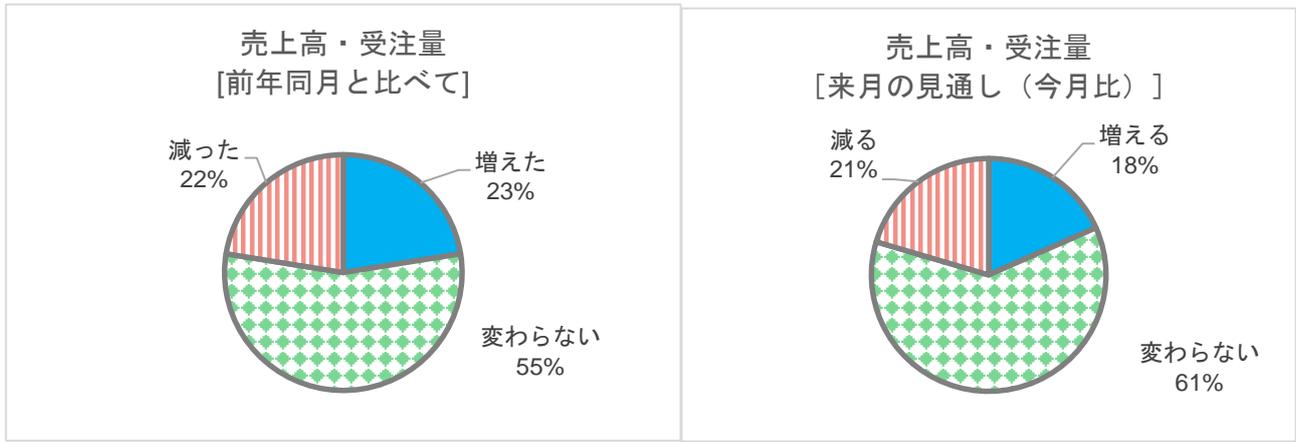
<景況>

- ・2022年10月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が20.4%、「変わらない」が55.1%、「悪くなった」が24.5%となりました。
- ・2022年11月以降の見通しについて、10月と比較して、「よくなる」が16.3%、「変わらない」が63.3%、「悪くなる」が20.4%となりました。



<売上高・受注>

- ・2022年10月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」22.4%、「変わらない」が55.1%、「減った」が22.4%となりました。
- ・2022年11月以降の見通しについて、10月と比較して、「よくなる」が18.4%、「変わらない」が61.2%、「減る」が20.4%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・人手不足が続いている。 <物流運搬設備(製)> ・半導体不足は解消されつつあるも、自動車の生産計画が下方修正されているが、その他の業界でも部品の調達難から生産計画の見直しがみられる。 <事業協同組合(鍍金)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家や空地が目立つようになった。 <建築工事業> ・物件数が昨年の70%である。営業努力が必要。 <木製家具(製)> ・年末が近くなり毎年のことであるが、職人不足の声を聞くことが多くなった。今年には特に内装業者さんの数が不足しているらしい。今後年度末に向かい、更に職人不足が多くなるであろう。 <建築設計業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇に発注先が了解していただけない現状がある。 <鋳材(卸)> ・物流人員の募集を続けてますが、応募がない。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・菓子の材料や包材も2次値上げの影響があり高騰しているため、どうしても客足が落ちている傾向があるが、来年から始まる大河ドラマで全国からの集客効果に期待したい。 <菓子小売業(製・小)> ・新車の納期遅れが半年から1年以上になると下取り予定のお車の車検が切れてしまう問題がある。代車を出すか、車検を取って対応するが、どこからも補填される事がなく、お客様が負担してくれるのなら良いのだが、サービスを売りにしてお客様と繋がって来た中小企業の多くは、自腹で費用負担をしているところも少なくない。新車を売れば売るほど苦しくなる現状が重くのし掛かる。 <自動車(小・修)> ・価格上昇とこの時期に必ず起こる、物不足が心配である。 <自動車タイヤ(小)> ・浜松ではインバウンド客の姿が見られない。 <経営コンサルタント> ・家庭向けの電化製品だけでなく、業務用の電化製品の値上げが来年の1月から始まる。 <家庭電化製品(販)> ・当業界メーカーの標準小売価格が1月より上がる。 <印鑑(製・販)> ・原油の価格は高い水準の中で上下している。政府の緩和措置で、大きな価格変動はなっていないが、数量確保のための価格競争も激しくなっている。 <事業協同組合(石油)>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・食材費の増加額を売上単価に転嫁しきれず、粗利益が減少している。 <税理士> ・飲食は例年よりも暖かさが長引き、季節感や年末感が薄れて月初めは売上げが鈍るだろう。 <茶(加・小)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・警備業は交通誘導警備、イベント警備、施設警備等々、需要は安定しているが、それに応える供給をするための人財確保が追い付いていない状況。 <警備業>

	<ul style="list-style-type: none"> 退職時の健康保険証回収を徹底せよとのお達しが出ている。マイナ保険証に一本化されれば郵送の手間も切手代もいなくなるのだが… <社会保険労務士> 認知症対策の相談が増加している。 <司法書士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 銀行との付き合い方で、どのように接したら良いか困っている。 <税理士> 業界自体もイベントのリアル開催が増え、コロナ以前の状態にもどりつつある。半面、資材不足や価格の高騰がネックになっている。 <ディスプレイ業>

■新型コロナウイルス感染症の影響

- ・コロナウイルスに対する意識は世間的には緩んできてはいるが、ワクチンを打つようには推奨している。 <物流運搬設備(製)>
- ・新型コロナウイルスの影響を受け、融資を受けた企業が今後返済に追われる状況が見えつつある。 <農産物(卸・加工)>
- ・遊びに行く人は増えてきた。コロナの影響は殆ど感じなくなってきた。 <玩具(販)>
- ・コロナ自粛が解除になったもののコミュニケーション不足の解消には至らず、職場のトラブルは以前より厄介な事になっているように感じる。 <社会保険労務士>
- ・コロナ感染症による企業経営への影響は減少傾向にある。 <事業協同組合(機械)>
- ・コロナ感染は横並びですが、収束傾向にあり喜ばしいです。 <ディスプレイ業>
- ・新型コロナウイルスがまた増えつつある中、インフルエンザとのダブル流行も懸念されている。新型コロナウイルスワクチンも何度打ったら良いのか分からないし、繰り返し行われることで、冷めた感じもある。 <同業団体(商業)>
- ・第8波の影響が心配。コロナ対策はインフルエンザの対策と違い模索の状態である。 <事業協同組合(鉄)>
- ・新型コロナウイルスと物価高騰・円安のトリプルアンチで、かなり景気が冷え込みそうな感じがしている。 <農産物(卸・加工)>

■自然災害の影響

- ・台風の影響で、市外ですが未だ営業再開できてないお客様もいる。 <菓子材料(卸)>
- ・建築会社で台風15号の直接的な被害で地域の復旧を優先するため事業が停滞した顧客があった。 <行政書士>

■物価高騰・円安の影響

- ・物価高騰の影響がかなり出てきている。高騰前に多く仕入れてた部品等があるため何とかなっているが、仕入れるものほぼ全てが値上がりしている状況。売上は少しずつ戻ってきているものの利益をそこで取られてしまう。 <楽器(製)>
- ・円安、ロシア戦争が心配。 <木製品(製)>
- ・物価高騰、材料価格が上昇している。 <木製家具(製)>
- ・円安で海外から送金される配当、売上については昨年と比べて大幅に増加。ただし国内では電気代が3,000円から4,000円に増大しており国内の利益を圧迫している。 <事業協同組合(鉄)>
- ・不安定な国際状況、円安によるエネルギー高、原材料の高騰により収益状況が著しく悪化している。 <事業協同組合(鍍金)>
- ・木材に関しては、輸入材だけでなく国産材も値上りした。 <建築工事業>
- ・物価高騰の対策をしなければならない。 <木製家具(製)>
- ・物価高騰のため、見積書の作成に手間がかかる。 <鋳材(卸)>
- ・あいかわらず値上げラッシュで、その対応に追われて営業が疲弊している状態。 <菓子材料(卸)>

- ・コロナ禍というより、ロシアとウクライナの戦争などの影響からくる物価高騰により購買力が落ちてると感じる。 <菓子小売業(製・小)>
- ・物価高で全てのものが値上がりして、企業業績や家計に悪影響を与えている。 <自動車タイヤ(小)>
- ・原材料の高騰、円安の影響で商品価格が上がり、売りにくくなったのと、掛け率も悪くなり、値引き競争も負担になるため、余計に売上が減ってきている。先行き不安からの買い控えも感じる。 <玩具(販)>
- ・仕入価格が上昇してきている。 <印鑑(製・販)>
- ・物価高騰による買い控えが増えている。 <花・植木(小)>
- ・電気・ガス料金の負担軽減策が、早ければ来年1月から実施されるが、LPガスは事業効率化支援を通じて価格抑制を目指すという内容で、実質対象外となった。ウクライナ情勢や円安の影響で昨年から既に急騰している事実を無視しており、愚策の極みである。 <燃料(小)>
- ・食材費の単価が上昇している。 <税理士>
- ・昨年に比べて光熱費が1,5倍ほど上がったように体感する。節約のしようがなく困っている。 <茶(加・小)>
- ・円安が続いていますが、揺り戻しがいつなのか、先が見通せられない。 <税理士>
- ・期の始まりから、物価高騰に備えて大幅な賃上げをした結果、従業員の不安な声を聞くことが今のところないが、今後続く物価高騰の対策を只今検討中。 <警備業>
- ・物価高騰により注文住宅の受注が難しく建売住宅にシフトする動きが見られる。 <行政書士>
- ・物価高騰の影響より経費の増大が顕著である。 <実業団体(税務)>
- ・売上としては上がってきているものの、やはり物価高騰が経営を圧迫しているところが多いと思う。 <楽器(製)>
- ・円安で資材が更に高騰している。 <木製品(製)>
- ・円安に伴う材料、資材の高騰が起きている。電気代を始めとするエネルギー価格の高騰。 <事業協同組合(機械)>
- ・顧問先の飲食店は物価高騰に苦労している。 <税理士>
- ・鋼材価格が60%ほど高くなったが、下請けの弱みで価格転嫁ができない。(赤字額と材料が上がった分がだいたい同じくらいだった) <物流運搬設備(製)>

■インボイス制度・電子帳簿保存法について

- ・慣習として振込手数料を売り手側が負担することが多く、コストの負担感がある。インボイス制度により、買い手(支払側)負担に統一されることを期待している。 <機器工具(卸)>
- ・情報収集と準備段階である。 <玩具(販)>
- ・税務上での「適格請求書発行事業者」の登録手続きは、順調に進んでいるようだ。 <税理士>
- ・インボイス制度の理解がまだまだ浅いようだ。 <実業団体(税務)>

■その他

- ・トヨタ自動車は今後の新車(限られた車種)の2つあるスマートキーを当面の間1つしか付けずに納車すると通達があった。時期は未定だが、後からお届けするので追加発注も返金も受付ないようだ。半導体不足は未だ深刻な問題。 <自動車(小・修)>
- ・区割りについての議論の後は野球場新設問題。市と県双方が批判をしあうのではなく、理性を持ち紳士的な言動で対応をするべきである。 <物流運搬設備(製)>

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年11月期調査（2023年1月発表分）

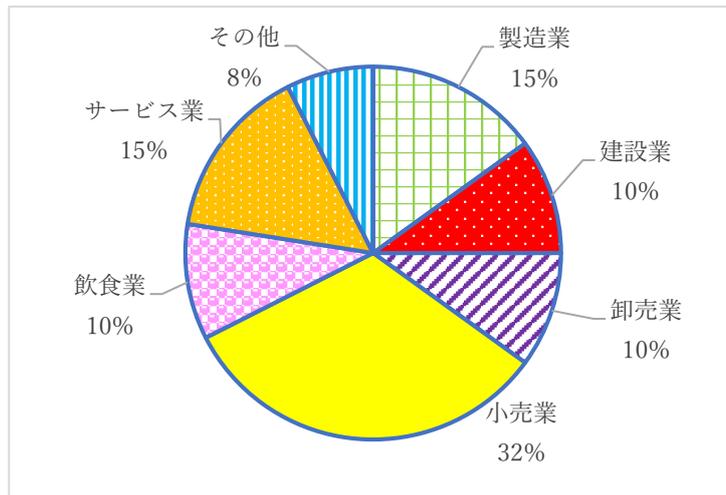
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は41名（回答率は61.2%）

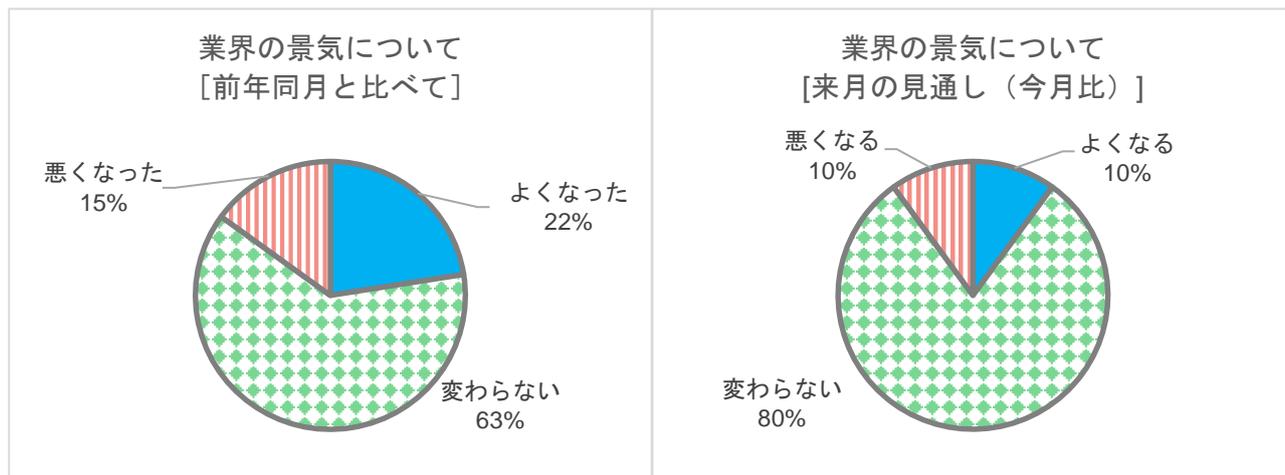
業種	回答者数	構成比
製造業	7	17.1%
建設業	4	9.8%
卸売業	4	9.8%
小売業	13	31.7%
飲食業	4	9.8%
サービス業	6	14.6%
その他	3	7.3%
計	41	100%



調査結果のポイント

<景況>

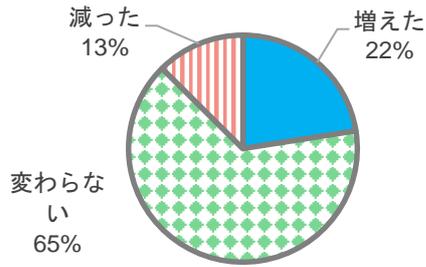
- ・2022年11月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が22.0%、「変わらない」が63.4%、「悪くなった」が14.6%となりました。
- ・2022年12月以降の見通しについて、11月と比較して、「よくなる」が9.8%、「変わらない」が80.5%、「悪くなる」が9.8%となりました。



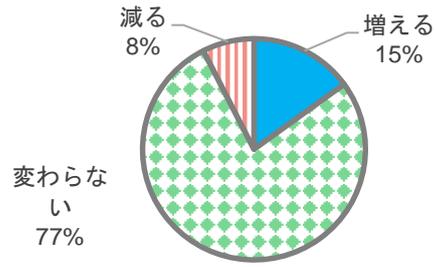
<売上高・受注>

- ・2022年11月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」22.0%、「変わらない」が63.4%、「減った」が14.6%となりました。
- ・2022年11月以降の見通しについて、10月と比較して、「増える」が14.6%、「変わらない」が78.0%、「減る」が7.3%となりました。

売上高・受注量
[前年同月と比べて]



売上高・受注量
【来月の見通し（今月比）】



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡県 の物価上昇緊急対策補助金 というものが 28 日に始まったが、当日にシステムダウンして、今現在まだ申請ができない状況が続いている。少しでも補助金が出れば助かる企業がたくさんあると思うが、このような状況になるのはわからなかったのか... と思ってしまう。しっかりやってほしい。 <楽器(製)> ・ 輸入材の価格が下がらない。 <木製品(製)> ・ 御歳暮の配達が多いのか、トラックの配送が遅れていて、資材がいつもより、日数がかかっている。 <木製家具(製)> ・ 仕事量は変わらず何とかこなしているが利益にまでは結び付いていかない。 <物流運搬設備(製)> ・ 電気代・燃料代だけでなく、物価高により利益を圧迫している。自動車の生産は半導体不足により、まだまだ生産調整が実施される見通し。 <事業協同組合(鉄)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先銀行の情報では、住宅の着工戸数が回復してきたとのこと。 <建築工事業> ・ 仕事量は戻りつつあるが、上の発注がタイミングを遅らす傾向があり、短納期が多い。 <サッシ・ドア(製)> ・ 一時期話題になったウッドショックは、今は木材の供給にゆとりがあり、中には木材業者さんから、使って欲しい旨の営業を行う方もあるようだ。 <建築設計業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依然として物価高が続いている。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)> ・ 受注が減少している上に、価格アップがあり経営を圧迫している。 <鑄材(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年、葵東にスターバックスコーヒーがオープンする。高台地区に初めて出店のため、期待している。 <家庭電化製品(販)> ・ 菓子業界も物価高騰の影響をまともに受けて、高騰している材料や包材を売価に反映しきれない傾向が強い。材料などの卸問屋よりも、消費者と交わる小売店が、その影響を一番強く受けている。 <菓子小売業(製・小)> ・ 新車の納期が遅くなっていて、すぐに納車できる人気車種は中古車でも新車価格以上の金額で売買されている。需要と供給のバランスが崩れていて、中古車市場に違和感がある。 <自動車(小・修)> ・ ミシュランタイヤが来年 1 月より価格改定を発表したことで、来年も値上げラッシュになりそうな予感。 <自動車タイヤ(小)> ・ 販売数量はほぼ前年並み。コロナ前にはまだまだ届かない。原油価格は相変わらず高い水準であるが、徐々に減少傾向。政府の補助金により、販売価格は大きな変動なく推移している。なお、灯油の販売量は伸びている。 <事業協同組合(石油)> ・ 今回のワールドカップでも、AV商品の動きは鈍かったようだ。また電気代が値上がりしているのので、省エネ商品に関心が高い。 <家庭電化製品(販)>

小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・年末にかけ野菜・果物の品薄感が心配である。 <事業協同組合(青果)> ・11月は例年に比べて暖かく、ガス・灯油の消費が少なかった。 <燃料(小)>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の仕入価格が上昇しており、売上高がUPしても粗利が増加しない状況である。 <税理士> ・固定出費や、仕込み製造などの値上げに対し、売価の設定に困惑している。 <茶(加・小)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市も有効求人倍率が上がっているように、人財を確保することに困難している会社が多い。 <警備業> ・資材等価格高騰、半導体等の供給不足が続き、資金繰りに影響が出ている。当面続くことを考えると、金融機関を巻き込んだ事業継続のための経営計画の策定が急務。 <税理士> ・パワハラ防止法(中小企業も義務化)への対応だが、加害者が社長だった場合はどうすべきか極めて悩ましいところである。 <社会保険労務士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント業界では、11月は活発な動きがみられた。街中各所での集客を伴うイベントをはじめ、各施設では展示会、講演会も多く開催され、コロナ前の状況復活に期待が持てるようになってきた。 <ディスプレイ業> ・年末年始の飲食は予約が埋まりつつあるようだが、コロナ前には程遠い。年末に閉店する店が出てきている。 <同業団体(商業)>

■新型コロナウイルス感染症の影響

- ・コロナが増えているが、ウィズコロナの経営に落ち着いている感じがする。 <税理士>
- ・コロナの数字やニュースで多少来店数は変動するものの、まとまったキャンセルは無くなった。 <茶(加・小)>
- ・ウイルスにかかる人が増えている。 <木製家具(製)>
- ・コロナ感染者が増えても、他人事のような感じになってきている。当社でも、二次会は禁止という縛りだが、忘年会を行う事にした。 <物流運搬設備(製)>
- ・新型コロナもインフルエンザの同時流行を懸念している。 <同業団体(商業)>
- ・コロナ感染症第8波の懸念から社内の忘年会、新年会の開催は消極的対応となる。 <事業協同組合(ものづくり)>
- ・組合の親睦旅行を3年ぶりに実施したが、出発前にコロナに感染するなど、参加人数が10人まで減少した。 <事業協同組合(鉄)>

■自然災害の影響

- ・災害の復旧工事が多く発注されているが、施工業者・警備会社等の請け負う体制が追い付いていない状況で、この状況はまだ続きそう。 <警備業>

■物価高騰・円安の影響

- ・輸入品目が全て急騰しているので、手取りが上がらない中、まだまだコロナ禍の影響が残る日本は、消費が戻りきれない傾向がある。 <菓子小売業(製・小)>
- ・円安の影響を受けている。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)>
- ・仕入商品の価格アップが度々あるが、1月より更に価格アップが多くある。 <鑄材(卸)>
- ・タイヤの仕入価格の相次ぐ値上げに困惑している。 <自動車タイヤ(小)>
- ・相変わらず物価高騰は収まらず、今後も更に上がっていきそうな勢い。今までは何とか値上げせずにやってきているが、そろそろ厳しくなってくる。 <楽器(製)>
- ・今までは値上げをせずに提供してくれていた仕入先も、ここにきて値上げをすると案内がきた。これに伴い当社も値上げの検討をせざるを得なくなった。 <ディスプレイ業>

<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰と円安の影響を受けている。 <木製品(製)> ・相変わらず、材料仕入れの値上げが落ち着かない。 <サッシ・ドア(製)>
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナでの直接の影響と、物価高騰・円安の影響で先行き不安による買い控え等影響を感じる。 <玩具(販)> ・材料、エネルギー高の影響がある。 <事業協同組合(機械)> ・電気料金の上昇、仕入物価の高騰等影響が大きい。 <事業協同組合(ものづくり)> ・エネルギー・原材料の高騰で非常に厳しい状況。 <事業協同組合(鍍金)> ・物価高騰がとまらない。見積り作成、お客様へのお願いで忙殺されている。鳥インフルエンザの影響もあり、卵も値上されている。お菓子の値上も止まらない中で、どれだけ消費者に受け入れられるか心配。 <菓子材料(卸)>
<p>■インボイス制度・電子帳簿保存法について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・規模の大きな取引先から、インボイス制度の問い合わせが来始めている。 <木製家具(製)> ・東京商工会議所の調査で免税事業者の過半数が課税事業者への転換を検討との調査結果が出ている。一方、取引先から課税事業者になるように要請を受けたことがある免税事業者は8%程度であり、これから価格交渉等が本格化することが予想される。政府より緩和措置も出てきているが、自社の対応について早期に検討する必要がある。 <税理士> ・一人親方の外注先に、インボイス制度に対応するように、準備を進めている。対応出来なければ、外注先から外さなければならない。 <家庭電化製品(販)> ・インボイス・電帳法が実際に改正予定となり、とまどっている。 <実業団体(税務)>
<p>■その他</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は上半期と下半期で雇用保険料率が違う。周知に努めたつもりだが、給料手計算の事業所では以前の率のままになっているケースがみられた。 <社会保険労務士> ・求人に苦慮している。 <物流運搬設備(製)> ・来年の大河ドラマの影響に期待している。 <事業協同組合(飲食店)>

以 上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年12月期（2023年2月発表分）

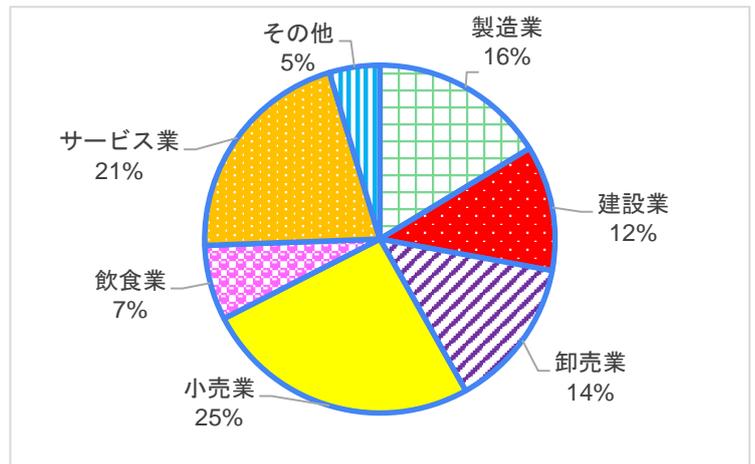
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は43名（回答率は64.2%）

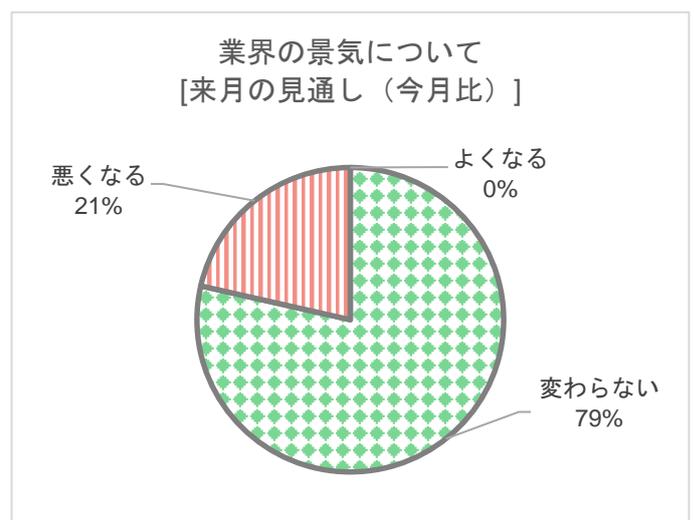
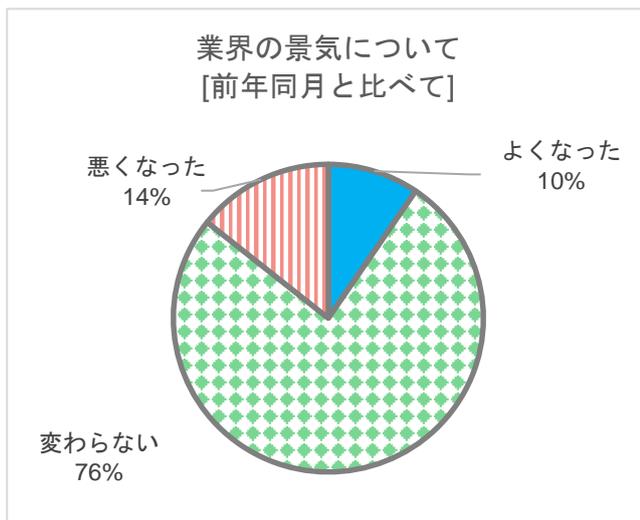
業種	回答者数	構成比
製造業	7	16.3%
建設業	5	11.6%
卸売業	6	14.0%
小売業	11	25.6%
飲食業	3	7.0%
サービス業	9	20.9%
その他	2	4.7%
計	43	100%



調査結果のポイント

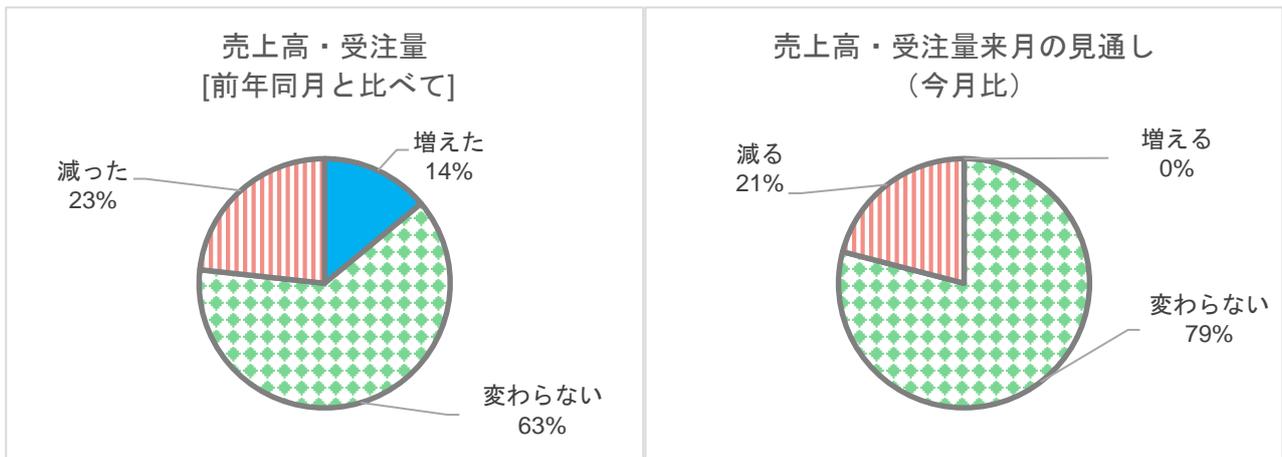
<景況>

- ・2022年12月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が9.3%、「変わらない」が76.7%、「悪くなった」が14.0%となりました。
- ・2023年1月以降の見通しについて、12月と比較して、「よくなる」が0%、「変わらない」が79.1%、「悪くなる」が20.9%となりました。



<売上高・受注>

- ・2022年12月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」14.0%、「変わらない」が62.8%、「減った」が23.3%となりました。
- ・2023年1月以降の見通しについて、12月と比較して、「増える」が0%、「変わらない」が79.1%、「減る」が20.9%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・材料費が高騰している。 <木製家具(製)> ・地域の中小企業ではベースアップについての話が出ている。しかし政府からの要望は「〇%上げるように」といった割合での話であるため、総支給もしくは手取り額どちらに対しての話か分かりづらい。さらに、給料が多い従業員に対してはより多くの給料を支払うこととなるため、対応に苦慮している事業所が多い。 <物流運搬設備(製)> ・年末年始の休み明けで組合事業所でもコロナ感染者が増加している。 <事業協同組合(鉄)> ・亜鉛等の原材料が高くなっている。 <事業協同組合(鍍金)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料の物価高騰により価格転嫁できるものと、できないものがある。また大河ドラマ「どうする家康」がスタートしたので、幟旗やポスターなどの掲出に協力する。 <電気配線工事業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・水産、海産物の原料の高騰による製品原価の上昇が激しくて販売価格への転嫁が追いつかない。地域は疲弊している雰囲気。 <乾物(卸)> ・2023年1月からの商品価格の高騰のため、12月の売上は増加した。 <鑄材(卸)> ・飲食店と主に取引しているが、コロナ禍の影響が薄らいで人の動きが戻りつつあるにもかかわらず、景気が悪くなっているのか、思いの外注文数が回復してきていない。 <農産物(卸・加工)> ・バター不足がまた始まる。また人手不足でパート・アルバイトが集まらず、作りきれないという理由で販売量を減らした事例が多かった。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新車の納期遅れの中、新型車が発表されても受注開始直後から1年以上待ちになる。とても正常とは思えない。 <自動車(小・修)> ・新店舗が無い事はないが、中央に店が明らかに減っている。 <祭用品(小)> ・タイヤの価格改定が来年もあり、来年も大変そうだ。 <自動車タイヤ(小)> ・今年の年末商戦は、昨年に比べて厳しかった。家電商品は、故障しなければ買替れないという状態に入っている。来年は、小型の冷凍庫が売れるのではないかと予想。冷凍食品の売上がアップしているので、販売に期待。 <家庭電化製品(販)> ・年末にかけて青果物、果物の品薄、高騰が懸念される。 <事業協同組合(青果)> ・浜松の消費能力低下により、商品が集まらない。消費能力の高い他県に流れる。 <花・植木(小)> ・円高で推移していることは、ガス仕入価格の観点から見ると好材料である。 <燃料(小)>

飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・街中に人がいない。 <事業協同組合(飲食店)> ・10名程のご予約は、根こそぎキャンセルということは無いが、必ず数名ドタキャンがある。キャンセル料はいただきにくい。 <茶(加・小)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・インボイス制度、電子帳簿保存法と業界を取り巻く法律が改正されている。これに伴い、消費税の免税事業者がインボイス発行事業者に登録すると、補助金等の交付が受けられる場合があるため、業務が多忙となることが予想される。 <税理士> ・警備業は、公共工事設計労務単価の中でも最低に近い単価設定。毎年の最低賃金上昇の影響は多少あるが、賃上げをしていない業者が多いのか、公共工事設計労務単価の上昇額は低い。 <警備業> ・コロナ特別貸付のゼロゼロ融資の返済開始が始まる企業が出てくる。政府では対策を検討しているが、まずは自社の現状把握(売上予測や返済原資の有無等)が必要。 <税理士> ・賃金アップに対しての対策を検討している。 <社会保険労務士> ・法務局の登記件数が減っている。 <司法書士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・どうする家康を応援し、浜松を盛り上げようとする動きが各企業様に見られる。それに付随する業務が入ってきているので、今後に期待が持てそう。 <ディスプレイ業> ・新型コロナとインフルエンザのダブル流行を懸念している。 <同業団体(商業)>

■新型コロナウイルス感染症の影響	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染が増えている中で以前ほどでは無いにしても景気にはいい影響はない。 <祭用品(小)> ・ウィズコロナも落ち着いてきた。ゼロ金利の返済がスタートし、今後を心配している経営者もいる。 <税理士> ・年明けから、コロナ陽性者および濃厚接触者が増え、自宅待機などで業務に影響が出始めている。 <機器工具(卸)> ・年末年始にかけて感染者が増え、社員も2名濃厚接触者に該当してしまった。 <ディスプレイ業> ・忘年会を行う事業所が増えた。企業は大騒ぎせず食事をしているのに対して、一般客は大騒ぎをしているためコロナに対する意識が薄れていると感じる。コロナに加えウクライナ問題、円安による物価高騰についても先行きが不透明であるため、過度な心配はせず、暗中模索状態でマネジメントをしている企業が多い。 <物流運搬設備(製)> ・新型コロナの行動規制は出ていないが、大会社がまだ、大きな宴会など許可していないところが多いので、飲食をはじめ、なかなか厳しいのが現状。 <同業団体(商業)> ・新型コロナで業務用の卸が減った。 <米穀類(小)> ・コロナの感染者数は増えているが、前ほどの影響は感じない。売上も少しずつ戻ってきているが、物価高騰や円高等コロナ以前に戻るにはまだかかる見込み。 <楽器(製)> 	
■物価高騰・円安の影響	
<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ菓子の材料、包材の高騰が止まらず、価格を消費者に転換しきれない。価格を上げて消費が冷え込むことが心配。 <菓子小売業(製・小)> ・依然として円安の影響がある。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)> ・ウッドショックによる木材の高騰は落ち着いてきたが、石膏ボードがこの2~3カ月の内に値上がりするなどの情報があり、建築資材全体の高騰はまだまだ続きそうだ。 <建築工事業> ・輸入原料の高騰の影響が大きく、メーカーから数回の値上げ要請がある。 <鑄材(卸)> ・販売価格を値上げして売上が減らないか不安。 <祭用品(小)> ・物価高騰・材料費の上昇に対して対応が遅れている。 <社会保険労務士> 	

- ・相変わらず物価高騰は止まらず、仕入れ額の増加が利益を圧迫している。高騰が収まっても、それが金額に反映してくるまでにはまだ時間がかかりそうで、非常に困る。 <楽器(製)>
- ・飲食は少し戻ってきたものの、安定感はなし。値上げにお客様がついてこられない感はいなめない。 <茶(加・小)>
- ・円安の影響が出始めている。輸入材の価格がコロナ初期よりも高騰している。 <木製品(製)>
- ・工事部材等の値上がりで、カタログと実際の価格で相違が見られ、見積書を作成する時に、注意が必要になってきた。 <家庭電化製品(販)>
- ・電気代、ガス代だけでなくすべての仕入れ経費が値上がりしており、利益を圧迫している。ゼロゼロ融資の解消が始まるのでさらに資金繰りが厳しくなりそう。 <事業協同組合(鉄)>
- ・電気料金やガス代特に都市ガスが高騰している。資材や部品も高騰しているため、1年位前から受注単価の見直しに努めているが、難航中。 <事業協同組合(ものづくり)>
- ・コロナと円安・物価高の影響を強く受けており、今後さらに冷え込むと予想している。 <農産物(卸・加工)>
- ・さらなる値上げが控えている。乳製品、卵、小麦粉、砂糖、化成品、次々に上がっている。需要がついてきてくれるのか、非常に心配。 <菓子材料(卸)>

■インボイス制度・電子帳簿保存法について

- ・元請会社から、インボイス制度・電子帳簿保存法の確認が増えてきた。 <警備業>
- ・10月からの施行に向けて、諸々の経過措置や納税額の軽減措置が発表されている。正確な情報収集と早めの対応が必要になっている。 <税理士>

■その他

- ・年金に関する問い合わせが増えている。特に国民年金の納付期間延長や受給開始年齢引き上げ等、決まってもいない事で老後の不安を感じているようだ。 <社会保険労務士>
- ・コロナや物価高騰の不安が続く中、インボイスなどの負担になる可能性もある新しい施策を進めるのが理解できない。増税論議もしかり。 <サッシ・ドア(製)>

以 上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年1月期の結果（2023年3月発表分）

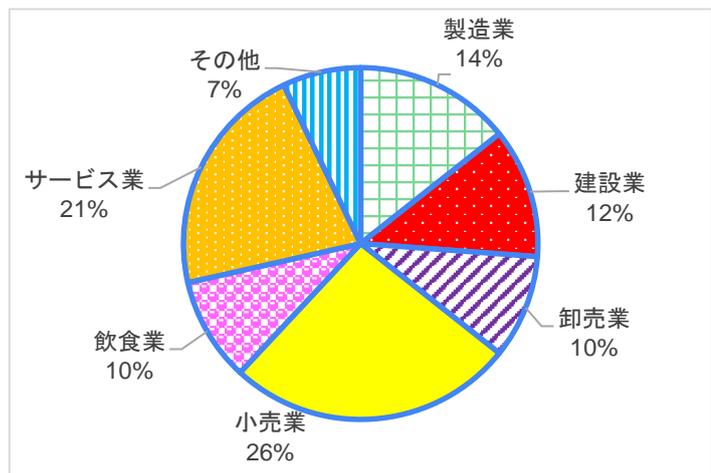
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は42名（回答率は62.7%）

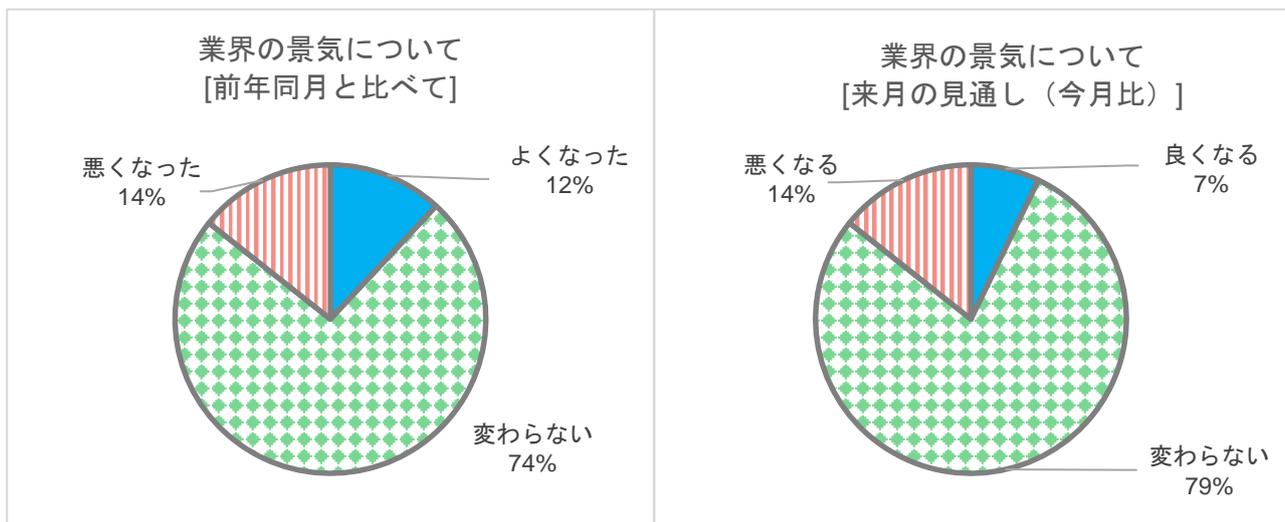
業種	回答者数	構成比
製造業	6	14.3%
建設業	5	11.9%
卸売業	4	9.5%
小売業	11	26.2%
飲食業	4	9.5%
サービス業	9	21.4%
その他	3	7.1%
計	42	100%



調査結果のポイント

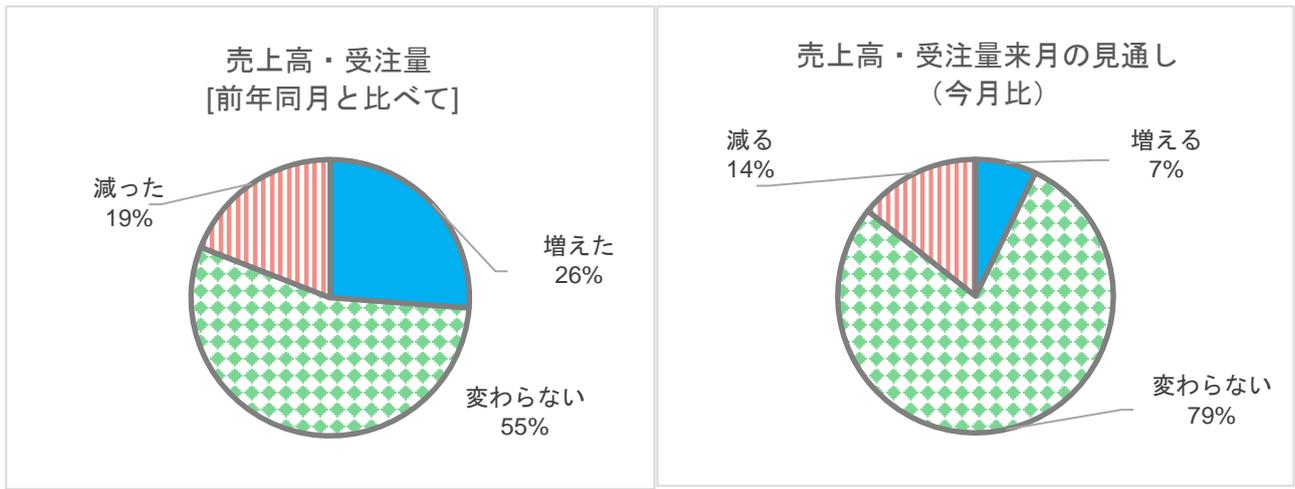
<景況>

- ・2023年1月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が11.3%、「変わらない」が73.8%、「悪くなった」が14.3%となりました。
- ・2023年2月以降の見通しについて、1月と比較して、「よくなる」が7.1%、「変わらない」が78.6%、「悪くなる」が14.3%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年1月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」26.2%、「変わらない」が54.8%、「減った」が19.0%となりました。
- ・2023年2月以降の見通しについて、1月と比較して、「増える」が7.1%、「変わらない」が78.6%、「減る」が14.3%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・景気は少し回復してきたが、コロナ前まではなかなか戻らない。 <楽器(製)> ・M&A や業務提携の問い合わせが多い。 <木製品(製)> ・飲食業、建設業は相変わらず苦しい状態が続いていて、賃上げ要求は信じられない。 <木製家具(製)> ・同業者で忙しくされている所もある。しかし一部であり、偏りがあるのではと思っている。その一部が無理をして仕事を取り、価格を下げているのではと心配になる。 <サッシ・ドア(製)> ・電気代の高騰は物価高と相まって、益々消費意欲がなくなってきている。中部電力への支援、話し合いで何とかならないものかと思う。 <事業協同組合(鉄)> ・材料高、電気等エネルギー価格高が大問題。 <事業協同組合(機械)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・品物によっては納期が長くなってしまい、工事完成が遅れる。 <電気配線工事業> ・材料高騰について、落ち着いてきたものもあるが、まだ上昇傾向の物が多い。設備機器系の商品が年明け以降、価格改定をアナウンスしている話を多く聞く。 <建築設計業>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・今年1月から大幅な各商品の値上げがあり、買い控えが生じている。 <鑄材(卸)> ・原料高の高騰は相変わらずだが、バターや卵の不足も大きな問題だ。共にお菓子製造には欠かせない素材のため、改善されるまで製造量減は免れない。 <菓子料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・街中に人が集まらない。大河ドラマ効果で少しでも人が集まる事を期待した。 <祭用品(小)> ・材料費の高騰で、殆どの商品が値上がり、掛け率も悪くなっているため状況は更に厳しくなっている。 <玩具(販)> ・防犯意識の高まりを受けて、TV ドアホンの販売が好調。 <家庭電化製品(販)> ・物価の高騰による不景気感が心配である。 <事業協同組合(青果)> ・年末年始の需要期の販売数量は伸び悩んだ。販売価格は政府に補助金が続いていることもあり、比確定安定しているが、原油価格は大きく下がることは現状ない。灯油は寒波の影響で順調。 <事業協同組合(石油)> ・円高傾向でガス仕入価格が下がる期待をしていたが、比較的安定していたC P (中東産L Pガス通告価格) が急騰したため、今後値上がりする可能性が高い。 <燃料(小)>

飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・売価が常に変動する事で、お客様の手元に残るチラシ媒体の製作目的が変化している。 <茶(加・小)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・資源価格、為替、消費者物価、企業物価の動向、さらに賃金アップ等中小企業を取り巻く環境はさらに厳しくなってくる事が予想される。 <税理士> ・値引き交渉が増えており、どう利益確保するか模索している。 <経営コンサルタント> ・相次いだ強盗事件により、警備会社に住宅の防犯対策に関する問い合わせが急増とのこと。ホームセキュリティ等の機械警備の需要が高まる事が想定される。 <警備業> ・多少の活気が戻ってきたように感じる。その代わりに売上は従来と同じ。今後に期待している。 <税理士> ・後継者不在でM&Aを視野に入れ、ここ数年動向を見ている。 <社会保険労務士> ・無料版チャットワークに過去40日までの閲覧制限がかかってしまったのは残念。 <社会保険労務士> ・県盛り土条例の規制による工事の停滞。 <行政書士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市の行事が動きだし、今まで様子を伺っていた他の企業もイベントや展示会出展に参加するようになってきている。 <ディスプレイ業>

■新型コロナウイルス感染症の影響	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新型コロナウイルスの影響を受けて販売状況は苦しいが、さらに物価高騰の影響も受けて、受注減が続いている。 <農産物(卸・加工)> ・5類への引き下げが決まり、売上回復への期待感はあるが、物価高騰の影響で生活必需品以外の消費まで回復するかは期待できない。 <玩具(販)> ・ホテルの宿泊やお土産物の販売に関してはかなり戻ってきた実感がある。大きな宴会も少し増えてきた。 <菓子材料(卸)> ・コロナ感染が再び増えている。従業員には今一度警戒するようにと伝え、社内で感染防止を徹底している。 <物流運搬設備(製)> ・With コロナが日常になり、社内に感染者・濃厚接触者が出ても事業に支障が出ることはほぼなくなった。でも賃上げできるほどの回復ではない。 <社会保険労務士> ・感染対策の指針をもう少し明確にしてほしい。 <事業協同組合(飲食店)> 	
■物価高騰・円安の影響	
<ul style="list-style-type: none"> ・原材料や電気代の値上がりもかなり経営を圧迫している。最終商品の価値を高めてしっかりと値上していかなければ、この先厳しい。 <菓子材料(卸)> ・相変わらず物価高騰は収まらず、商品価格を今まで据え置いてきたがそろそろ上げないと難しくなってきた。 <楽器(製)> ・2月より樹脂系の材料の価格が上がるとの事。何の影響かは分からない。 <木製品(製)> ・材料の仕入れ価格は相変わらず高止まり、下がることはなさそう。インボイスについても、来月までに決めなければいけないが、売上が下がっている中小企業にとってはこれ以上の負担は難しい。 <木製家具(製)> ・エネルギー、原材料の高騰により収益率が著しく悪化している。 <事業協同組合(鍍金)> ・材木の価格が一時に比べれば落ち着いた印象を受ける。 <建築工事業> ・自社製品の商品化に向け、先行きが見えない材料の高騰は価格設定の際に頭が痛い。一年ごとの価格改正を盛り込み、販売していこうかと思っています。 <サッシ・ドア(製)> 	

- ・電気代高騰は家計に厳しい。国も電力会社の助成金を検討する必要がある。＜家庭電化製品(販)＞
- ・物価高騰により資材・備品の価格も高騰し、利益率にも影響している。弊社のような業界も値上がりを意識せざるを得ない。また顧客からは見積りに対する値引き交渉が増えてきた。
＜経営コンサルタント＞
- ・材料高、電気等エネルギー価格高が大問題である。＜事業協同組合(機械)＞
- ・工事費の高騰により、小規模な工務店は受注が減っているのではないかと思われる。＜行政書士＞
- ・コロナの影響はほぼ感じられなくなってきたが、物価高騰による仕入先の値上げが加速している。
＜ディスプレイ業＞
- ・当組合においても、年末から年明けにかけての電気・ガスの値上がりには驚いている。使用量は10月～11月とそんなに変わらないが値上げの幅がすごい。
＜事業協同組合(鉄)＞

■その他

- ・コロナ関連保証によるゼロゼロ融資の据え置き期間が終了し、返済が本格化することから、資金繰りが大変となる懸念がある（一部に企業からのヒアリング）。＜事業協同組合(鉄)＞
- ・相次いだ強盗事件により、警備会社に住宅の防犯対策に関する問い合わせが急増し、ある大手警備会社では日に5倍以上の相談があったと新聞に記事があった。＜警備業＞
- ・賃金を上げろ、と国は言っているが、中小企業では元手がないので、(物価高騰もあり) 国との温度差があり聞いているだけで、頭が痛い。＜同業団体(商業)＞

以上

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年2月期の結果（2023年4月発表分）

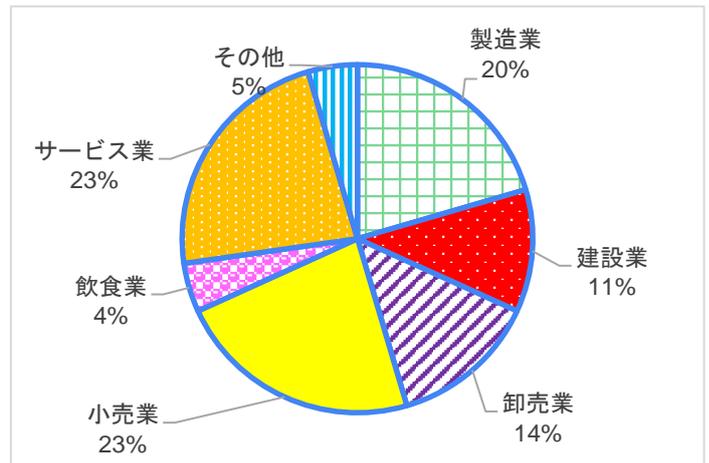
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は44名（回答率は65.7%）

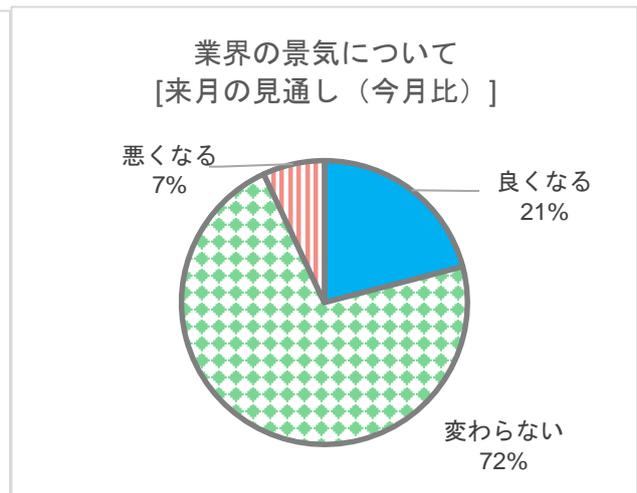
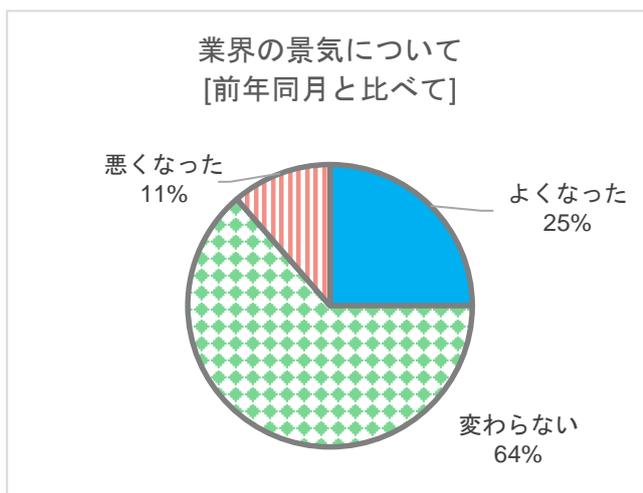
業種	回答者数	構成比
製造業	9	20.5%
建設業	5	11.9%
卸売業	6	14.3%
小売業	10	23.8%
飲食業	2	4.8%
サービス業	10	23.8%
その他	2	4.8%
計	44	104%



調査結果のポイント

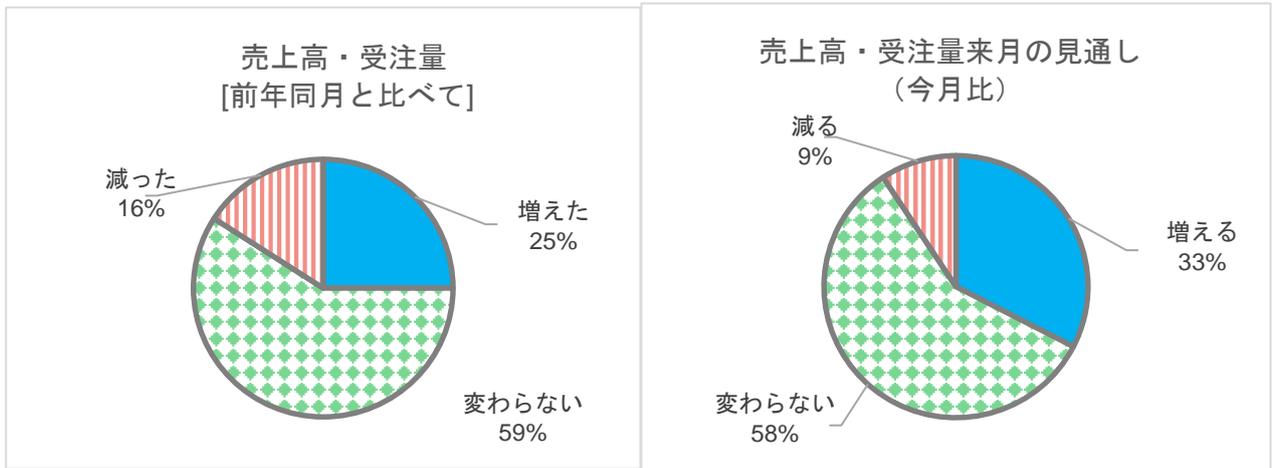
<景況>

- ・2023年2月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が25.0%、「変わらない」が63.6%、「悪くなった」が11.4%となりました。
- ・2023年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「よくなる」が20.9%、「変わらない」が72.1%、「悪くなる」が7.0%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年2月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」25.0%、「変わらない」が59.1%、「減った」が15.9%となりました。
- ・2023年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「増える」が32.6%、「変わらない」が58.1%、「減る」が9.3%となりました。



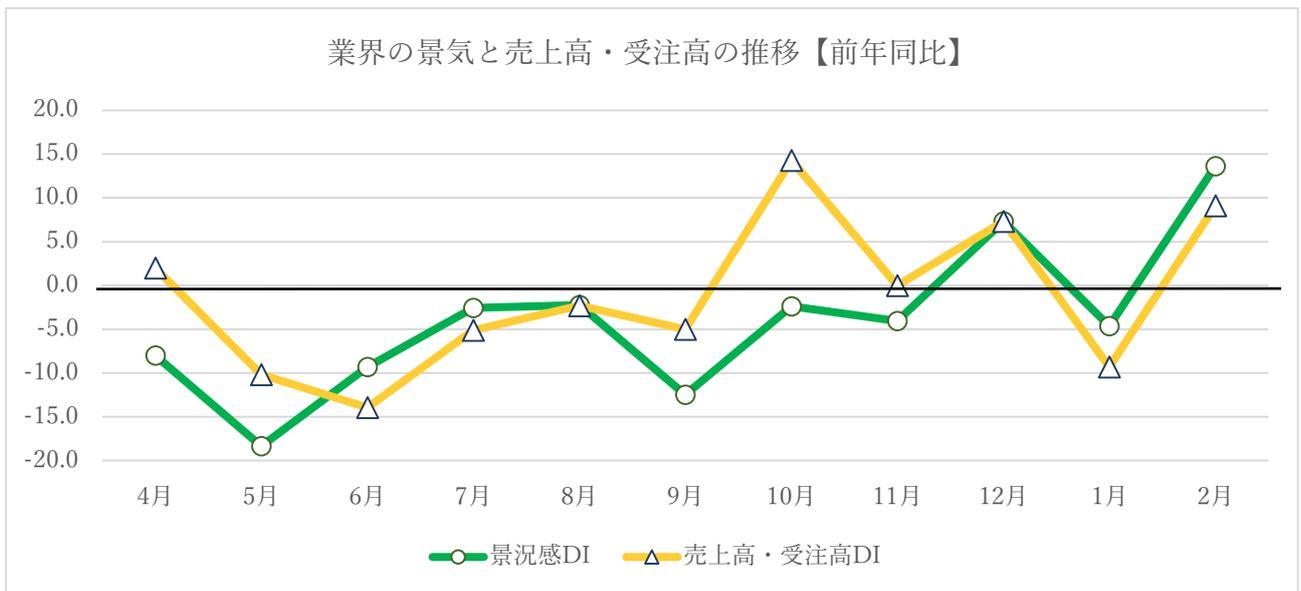
【景気動向 DI (毎月版)】 **New!**

<概要>

景気ウォッチャー調査員67名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

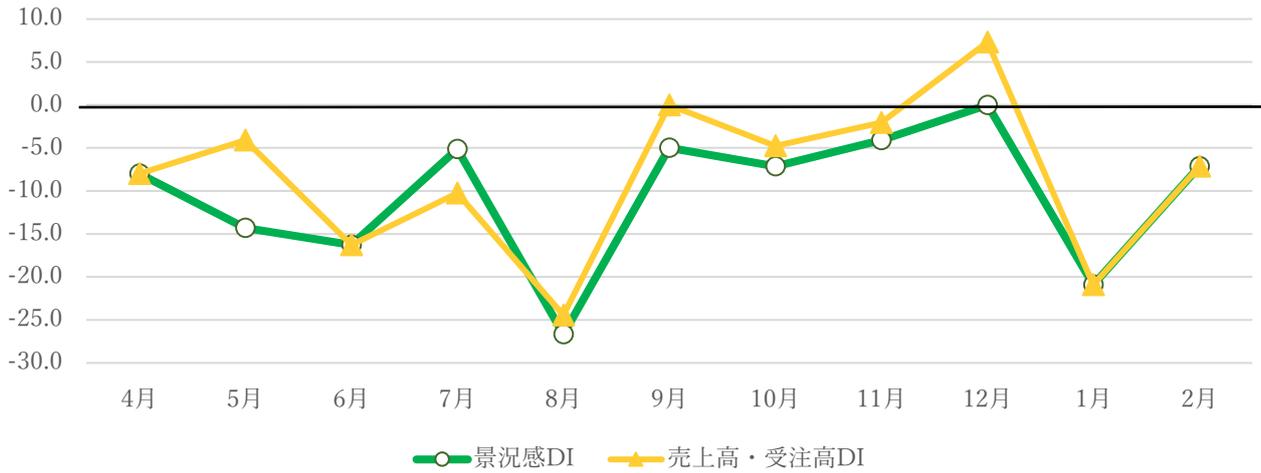
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。



業界の景気について [前年同月と比べて]											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-8.0	-18.4	-9.3	-2.6	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6
売上高・受注量 [前年同月と比べて]											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高・受注高DI	2.0	-10.2	-14.0	-5.1	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1

2022年4月からの景況感と売上高・受注高(前年同月比)は下記の通りです。前年同月比で1月から2月にかけて、大幅にポイントアップしました。

業界の景気と売上高・受注高の推移【来月の見通し】



業界の景気について[来月の見通し (今月比)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-8.0	-14.3	-16.3	-5.1	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1

売上高・受注量 来月の見通し (今月比)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高・受注高DI	-8.0	-4.1	-16.3	-10.3	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1

2022年4月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。1月から2月にかけてポイントアップしましたが、依然として低水準での推移が続いています。

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの落ち着きもあって売上は緩やかに上昇傾向、5類移行もあって今後が楽しみ。 <楽器(製)> ・顧客の高齢化により、今まで出来ていたことが難しくなり、受発注や支払のトラブルが出てきている。 <電気配線工事業> ・小売店での販売は芳しくない。 <木製品(製)> ・決算時期に合わせて、今は忙しい。マスク解除と共に行動が増えてほしい。 <木製家具(製)> ・原材料費の値上げも高止まりしてきたが、外注部品等々の価格も相当に高くなってきている。総じて原価が高くなり、かといって受注価格はそれと比例はしていないので知恵の勝負になってると感じる。発注先の変更も検討し始めている。 <物流運搬設備(製)> ・受注は増加傾向になってきた。しかし、人手不足でハローワークやその他で募集しても採用できない。賃金アップと親会社からも言われており悩ましい。 <事業協同組合(鉄)> ・浜松祭りがコロナ前のような形で開催されないようなので盛り上がりにかけている。賃金を上げるという話があるが、浜松の大手に人をとられ、中小零細企業には若い子が来てくれない。働き手がいなくなり、会社の存続が危うい。 <注染ゆかた(加)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・県西部では住宅の受注状況が少なくなっているという話がある。 <建築設計業>

卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・水産物原料の高騰している。また空き店舗が増加している。 <乾物(卸)> ・業界はコロナも収束する方向で考えているので、今春からは通常の活動を行う予定。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)> ・鋳造副資材の価格高騰の影響で受注が減少している。また鋳造副資材は輸入品が多く、円高になれば価格は抑えられる。 <鋳材(卸)> ・商品の値上はまだまだ続きそう。見積り作成だけでも仕事がパンクしそうだが、付加価値を高められる提案をしていかなければ、と奮闘している。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・我々の業界も、全て値上げの対象になるので、売価に上乘せするが、やはり日常の食事と違い、嗜好品の為、消費者の買い控えが心配。 <菓子小売業(製・小)> ・車の販売は例年2~3月がピークになるが、2月後半から受注が落ち始めている。新車不足で免許を取ってから車を探してるお客様は間に合わない状況で、4月から出勤で使いたい新社会人のお客様にとって切実な問題である。 <自動車(小・修)> ・暖くなると身の回りの整備がしたくなるのか、多少個人の注文が増える。 <鉄材料(販)> ・茶業では、こだわりの高級品は対価に見合わなくても、農家と製茶屋の意地とプライド品が少しあった。しかし背に腹はかえられぬようで、今年から意地とプライドは捨てる方も増えてきた。 <茶(加・小)> ・各社売価の値上がり、掛け率も悪くなり厳しい状況が続いている。週末の夜の賑わいは戻ってきていると感じる。歓送迎会シーズンで感染拡大がなければ良いが。 <玩具(販)> ・電気代などの高騰が商店の経営を圧迫している。 <事業協同組合(青果)> ・新型コロナの感染は縮小し、行動制限もなくなった状況ではあったが、燃料油販売は前年より減少。値段の高止まりと、あらゆる商品が値上げされ、消費が冷えている。燃料も満タンではなく金額や数量指定の入れ方が多くなっている。 <事業協同組合(石油)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染も落ち着いてきたことにより、教育のニーズが高まっている。 <経営コンサルタント> ・雇用の受け皿である建設・建築・土木業とそれに係る警備業への就労選択が著しく低下してきた。その観点から、景気が少しずつ回復してきたと考える。 <警備業> ・訪問介護事業所において、求人募集をしても応募者がいない。 <社会保険労務士> ・所有者土地不明問題に関連する法改正があった。 <司法書士> ・賃上げ問題について。物価上昇に伴い、賃上げも必要だと思うが、実態として中小製造業にはなかなか難しい。そもそも利益が圧迫されているから価格転嫁が難しい。 <事業協同組合(機械)> ・行政手続きのオンライン化が少しずつ増えてきている。利用者の負担軽減になれば良いと思う。 <行政書士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・助成金のおかげで利益が出た事業主がいるが、なぜ利益が出たのか理解できていない人がいるという現状がある。 <税理士> ・我々イベント業界は、屋外開催の案件が増えている。また来期の案件相談もあり、前年の同月よりも前向きに業務に取り組んでいる。 <ディスプレイ業> ・当店のお客様が、振り込み詐欺に合った。幸いにも、未遂に終わり、犯人は逮捕された。犯人は、事前に調べて電話を掛けてきたが、電話には迷惑電話防止の機能がついていなかった。家電業界は積極的に啓蒙活動を行い、振り込み詐欺への対策を行う必要がある。買替キャンペーンを提案したい。 <家庭電化製品(販)>

■新型コロナウイルス感染症の影響	
・物価高騰は相変わらず続いているが、コロナ感染が減少し、世の中も通常に戻りつつあるので良い傾向である。	＜ディスプレイ業＞
■物価高騰・円安の影響	
・コロナウイルスは落ち着いてきたと思うが、物価の高騰は落ち着く気配もない。仕入れが大変。	＜楽器(製)＞
・原材料の高騰により価格転嫁が難しい。	＜電気配線工事業＞
・ドル円相場が安定してきているので、輸入材の価格も安定してきた。	＜木製品(製)＞
・原油・資材だけでなく、電気代・一般消耗品も値上対策に苦慮している。	＜事業協同組合(鉄)＞
・物価高騰や円安にて資材の値上がりはまだ続くようだが、高いお金を払っても商品や材料が無いという事が起きている。また、インボイスにより内職さんが加工しているものは仕事を出している会社に確実に負担が増えるので困っている。	＜注染ゆかた(加)＞
・円安と物流費が仕入れ単価に影響する状況が続いている。	＜ピアノ・オルガン部品(製・卸)＞
・コロナウイルスの影響は薄らいできているが、物価高騰の影響で仕入資材や運賃等、軒並み値上げになっている。その分を商品に転嫁できていないので今後の状況が読めない。またこれからギフトの時期になるが、景気が悪くなると贅沢品よりも現実的な日常品を送る傾向があるため(既に昨年末にその傾向が現れていた。)、弊社の扱う果物やその加工品の需要が減るのではないかと心配している。	＜農産物(卸・加工)＞
・物価高騰の影響がかなりある。まだまだ高騰が止まらず、先が見えないため、どうしても現在の売価に上乘せざるを得ない。売価が上がるので、消費者の買い控えが心配。	＜菓子小売業(製・小)＞
・商品の値上げをしたが、私たちが思っていたほどお客様のご注文が減ることがなく、ご理解をいただける雰囲気だった。	＜茶(加・小)＞
・コロナの影響は感じにくくなってきた。物価高騰の影響が深刻で当分先が見えない。	＜玩具(販)＞
・電気代等の経費の高騰に苦しんでいる。	＜司法書士＞
・建設費の高騰により、住宅ローンの負担が増大している。	＜行政書士＞
・最低賃金も上がり、物価も上がる中、支出ばかりが膨らむ状況で、中小企業にとってかなり苦しい状況が続いている。	＜ディスプレイ業＞
■インボイス制度への対応	
・インボイスがわからないまま登録している会社があり、どうなるのか不安。	＜木製家具(製)＞
・インボイス制度の適格請求書について、システム業者さんと打合せしているが、未だ不明点も多く、対応に苦慮しています。	＜機器工具(卸)＞
・インボイス制度で、1人親方の対応を検討している。	＜家庭電化製品(販)＞
■その他	
・鳥インフルエンザによる卵不足でお得意様がお菓子を作れない事態となっている。殻付きの卵はまだ流通しているが、業務用の冷凍卵や液卵は半減している。状況改善までには最低半年かかると言われているので、しばらく厳しい状況が続くと思われる。	＜菓子材料(卸)＞
・浜松シティマラソンの開催、浜松まつりの開催を予定など、イベント・事業が回復してきたことにより、それに伴う警備業も回復してきた。	＜警備業＞
・4月から雇用保険と介護保険の料率が上がり、月60時間を超える残業割増率は50%にしなければならない。中小企業は益々厳しくなるだろう。	＜社会保険労務士＞
・電気代や物価が値上がりする中、賃上げ要請もあり苦慮している。	＜事業協同組合(ものづくり)＞

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2023年3月期調査結果（2023年5月発表分）

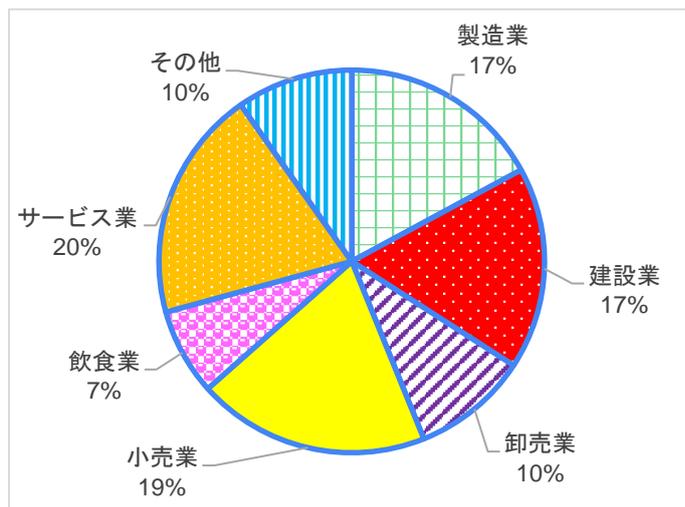
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2023年度景気ウォッチャー調査員（64名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は41名（回答率は64.1%）

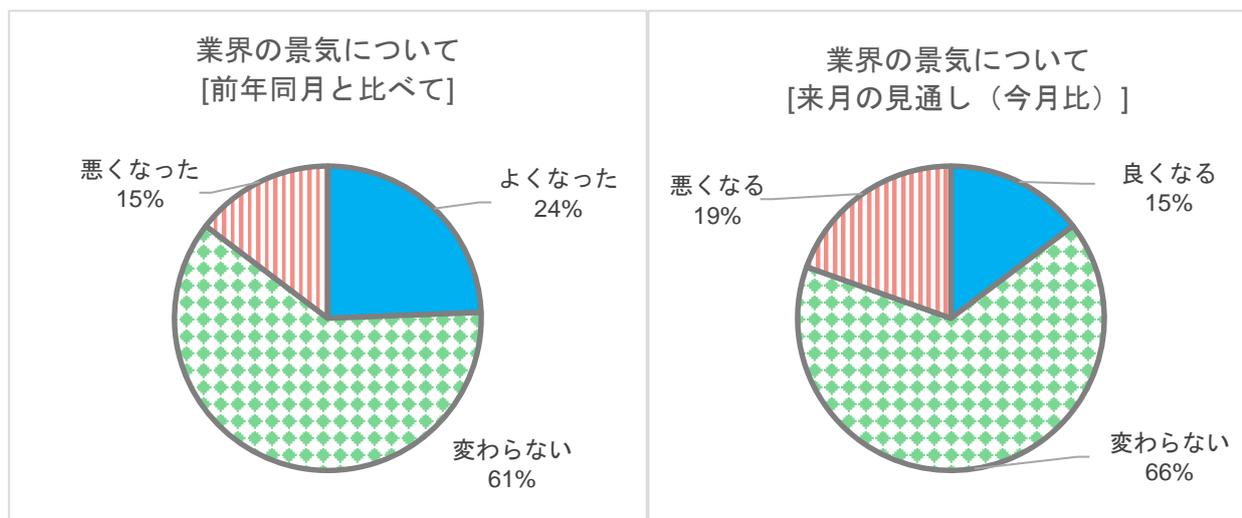
業種	回答者数	構成比
製造業	7	17.1%
建設業	7	17.1%
卸売業	4	9.8%
小売業	8	19.5%
飲食業	3	7.3%
サービス業	8	19.5%
その他	4	9.8%
計	41	100%



調査結果のポイント

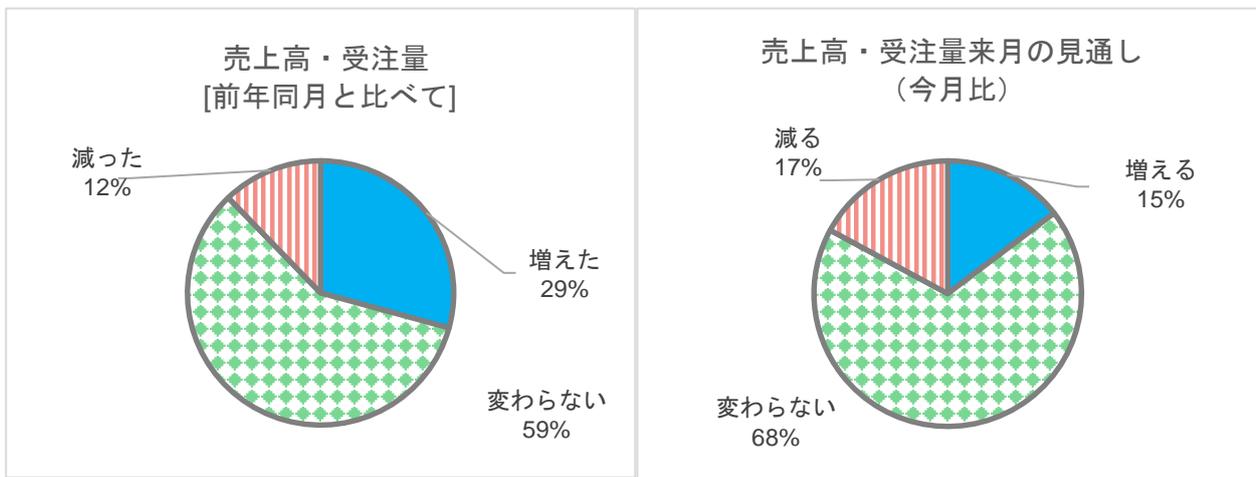
<景況>

- ・2023年3月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が24.4%、「変わらない」が61.0%、「悪くなった」が14.6%となりました。
- ・2023年4月以降の見通しについて、3月と比較して、「よくなる」が14.6%、「変わらない」が65.9%、「悪くなる」が19.5%となりました。



<売上高・受注>

- ・2023年3月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」29.3%、「変わらない」が58.5%、「減った」が12.2%となりました。
- ・2023年4月以降の見通しについて、3月と比較して、「増える」が14.6%、「変わらない」が68.3%、「減る」が17.1%となりました。



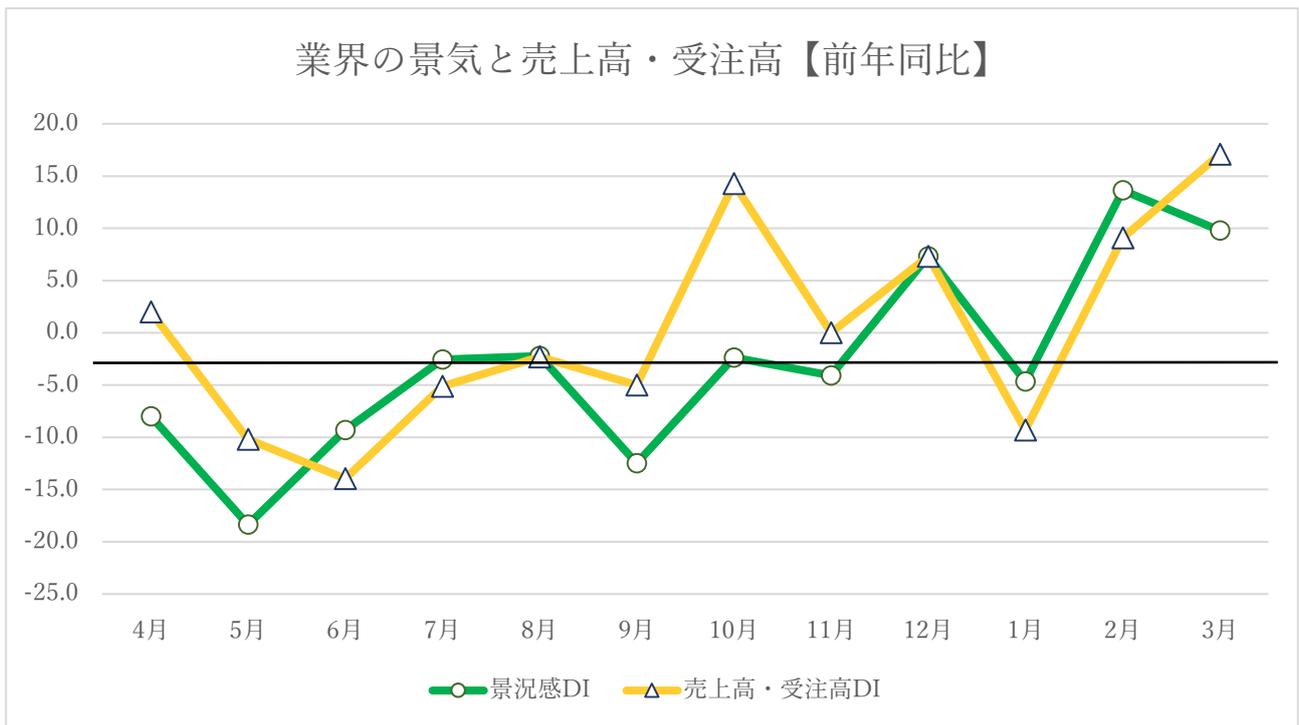
【景気動向 DI (毎月版)】

<概要>

景気ウォッチャー調査員64名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

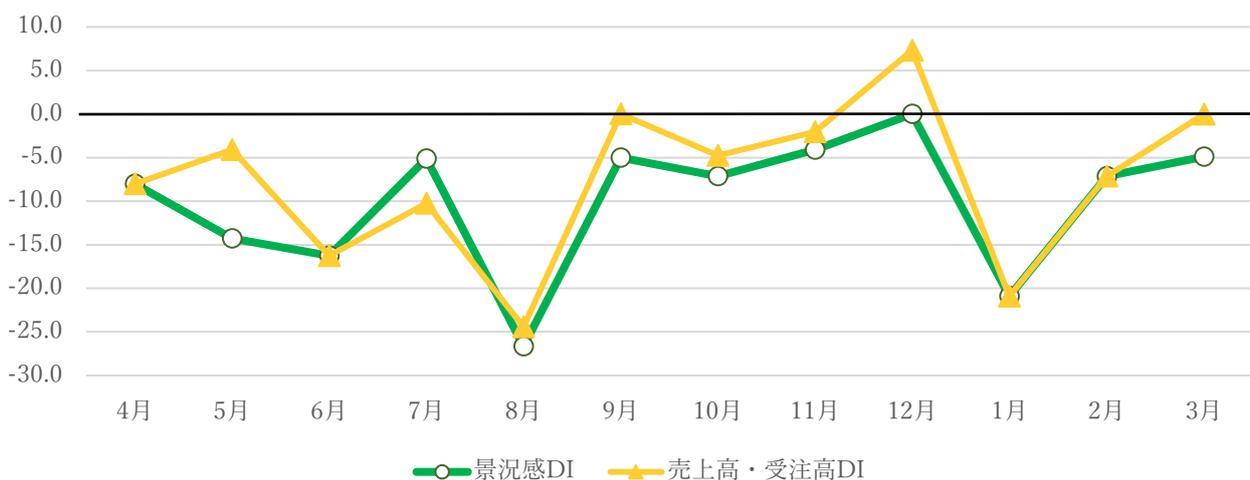
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。



業界の景気について [前年同月と比べて]												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
景況感DI	-8.0	-18.4	-9.3	-2.6	-2.2	-12.5	-2.4	-4.1	7.3	-4.7	13.6	9.8
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高・受注高DI	2.0	-10.2	-14.0	-5.1	-2.3	-5.0	14.3	0.0	7.3	-9.3	9.1	17.1

2022年4月からの景況感と売上高・受注高(前年同月比)は下記の通りです。前年同月比で2月から3月にかけても前月に引き続きポイントアップしました。

業界の景気と売上高・受注高【来月の見通し】



業界の景気について[来月の見通し(今月比)]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
景況感DI	-8.0	-14.3	-16.3	-5.1	-26.7	-5.0	-7.1	-4.1	0.0	-20.9	-7.1	-4.9

売上高・受注量 来月の見通し(今月比)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上高・受注高DI	-8.0	-4.1	-16.3	-10.3	-24.4	0.0	-4.8	-2.0	7.3	-20.9	-7.1	0.0

2023年4月からの景況感と売上高・受注高(来月の見通し)は下記の通りです。2月から3月にかけて前月に続きポイントアップし、回復傾向にあります。

【調査対象者のコメント】

業界区分	業界動向や地域に関する困りごと
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルスが落ち着きを見せ、大河ドラマ館がグランドオープンしたこと等が重なり、浜松も大分活気が出てきたように思える。県外ナンバーや外国人が増え以前の雰囲気になってきている。それに伴い、売上も増加してきているが、物価の高騰の影響が大きい。 <楽器(製)> ・材料費が高騰している。 <木製家具(製)> ・雇用支援機構より、役員会に3名出席いただき、4月からの従業員の技能向上のための受講案内・訓練日などのコース案内をしていただき、早速研修派遣ができることとなった。 <事業協同組合(鉄)> ・大手の賃上げに関する情報は拡散している。メーカーは販売価格への転嫁は認められるが、中小企業においては受注単価の内、燃料分のみや材料高騰分のみと、限られたものになり、それ以外は難しい。加えてカーボンニュートラルへの取組や時間外割増対応もあり悩ましい。 <事業協同組合(ものづくり)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・現場監督の数の不足傾向が続く。建設系履修者が減少傾向で、新卒採用市場は激戦。中途採用も市場の流動性はかなり低い。 <一般土木建築工事業> ・木材の原木の入荷の遅れ。 <木製家具(製)> ・住宅契約数の減少の話を多く聞く。木材の価格高騰の他、一部材料の不足の情報もある。それにより、見積金額がお客様の予算に合わないケースが多く、契約数の減少に繋がっているケースもあるようだ。 <建築設計業> ・建設資材価格高騰が顧客の意思決定に影響している。 <木製家具(製)>

卸売業	<ul style="list-style-type: none"> 商品の値上をしなければやっていけない状況の中、上手に付加価値を上げながら値上をして経営改善しているお店と、値上で売上を落とし苦労しているお店と差がついているように思う。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連メーカーは復調の兆しがあるが、地方の中小企業にはまだまだ実感が無い状態が続いている印象。 <自動車(小・修)> 照明器具のLED化が急速に進み、蛍光灯の売上が減少している。近い将来、蛍光灯を必要としない家庭が多くなり、蛍光灯の生産は、終了すると思われる。 <家庭電化製品(販)> コロナの影響も落ち着き正常な社会活動に戻りつつあるが、原油高により価格は高止まりしている。決算期の企業も多く、販売数量確保のため、価格競争となっている。そのため利益の確保が難しい3月となった。 <事業協同組合(石油)> ガス料金に関する問い合わせが増えている。エネルギー価格の高騰が家計を圧迫し、ガス料金に対する不満が高まっていると思われる。 <燃料(小)>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> 直接的な困り事ではないが、街中に10代っぽい若者がたむろしている姿が目につく。街中のお店に還元しているとは思えないので、見た目もそうだがあまり好ましくない。 <居酒屋>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> 過日の強盗事件などの影響を受け、その時は防犯対策・グッズの需要は高まりまったが、現在は以前に戻ったとのこと。業界や地域の困りごととしては、相変わらず、人財確保を多くの会社ができていることである。 <警備業> 従業員の賃上げ風潮に、どこまで対応してよいか検討中。 <社会保険労務士> 認知症に関する相談が増加している。 <司法書士> 国が推進している、建設キャリアアップシステムに関する相談、依頼が増えている。 <行政書士>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 物価及び人件費の上昇が中小企業においてはかなりの痛手。 <ディスプレイ業>

■新型コロナウイルス感染症の影響	
<ul style="list-style-type: none"> マスクも緩和され、あちこちでイベント・催事が開催されることとなり、それに伴うイベント警備の需要が増えてきた。 <警備業> アフターコロナの状態が整い、今後売上の増加を期待する経営者が増えている。 <税理士> コロナ政策が緩和し、人と物の移動が徐々に始まったが、今後どう変化していくのかまだ読み切れない部分が多々ある。 <ディスプレイ業> 	
■物価高騰・円安の影響	
<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの影響が収まりつつあり、売上もだいぶ戻ってきている。しかし、相変わらず物価の高騰が収まらず、利益を圧迫している。円安も一時より落ち着いているが、物価の高騰は高止まりしており、なかなか思うような状態にはなっていない。 <楽器(製)> OPECが原油の減産を決めたことで、さらに燃料費が上がるのではないかと。 <木製品(製)> 景気が悪いまま停滞してしまっていると思う。コロナが落ち着き、今までのしわよせが回ってきてしまっている会社がある。 <物流運搬設備(製)> 原材料・エネルギーの高騰による収益率の減少が著しい。 <事業協同組合(鍍金)> 物価高、円安の影響を受け工作機の注文が激減。 <鑄材(卸)> 前年同月よりも注文数と売上ともに増えてはいるが、一過性のような気がしている。物価高騰・円安の影響はこれから現れてくる気がする。 <農産物(卸・加工)> 値上や欠品が続く、お客様へ見積り提出、代替品の手配だけで疲弊している。 <菓子材料(卸)> 原材料費の高騰の影響がまだまだ増えてくる。 <玩具(販)> 	

- ・肉等の原材料高騰で、メニューの値段も改変する時期が来ている。 <居酒屋>
- ・物価高が収益を圧迫。 <事業協同組合(機械)>

■インボイス制度への対応

- ・インボイス制度・電子帳簿保存法の準備が完了している事業所と未だに完了していない事業所がある。未完了の事業所への啓蒙活動が必要。 <家庭電化製品(販)>
- ・インボイスの認知度に比べて電子帳簿保存法に対する認知が遅れているような気がする。インボイス同様に早めの対応が望まれる。 <税理士>
- ・インボイス制度の施行までの間に、個人事業主との請負契約見直しを進める。 <社会保険労務士>

■その他

- ・人手不足は今後生産性に影響してくる深刻な問題となりつつある。 <事業協同組合(鉄)>
- ・コロナ禍で低迷したが、この春からまた技能実習の外国人が増えてきた。 <社会保険労務士>

以 上